



PAT-LIST-GLS Ver2.1

日本特許調査・解析機能

For Windows

ユーザーズガイド 1

初版 2015年7月1日

株式会社 レイテック

Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Microsoft Office、Microsoft Excel は、Microsoft 社の商標です。

目次

はじめに	1
ごあいさつ	1
本書の構成について	1
第1章 本ソフトウェアの概要	2
1.1 本ソフトウェアの構成	2
1.2 動作環境	2
1.3 各特許調査・解析機能の画面	3
1.4 処理の概要	4
第2章 注意事項	5
第3章 起動方法	6
3.1 デスクトップ ショートカットアイコンによる起動	6
3.2 スタートメニューからの起動	6
3.3 PAT-LIST 形式ファイルのアイコンによる起動	7
第4章 初期画面とPAT-LIST 形式ファイルを開いた直後の画面	8
4.1 初期画面の構成	8
4.2 メニューの構成	9
4.2.1 「ファイル」メニュー	9
4.2.2 「編集」メニュー	9
4.2.3 「表示」メニュー	9
4.2.4 「データ操作」メニュー	10
4.2.5 「ツール」メニュー	10
4.2.6 「ダウンロード」メニュー	10
4.2.7 「ウィンドウ」メニュー	10
4.2.8 「ヘルプ」メニュー	10
4.3 ツールバーの構成	11
4.4 TPL ファイルを開いた後の画面	12
4.5 各国特許調査・解析機能の切替タブ	12
4.6 日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)の画面	13
第5章 外部データ取込み	14
5.1 取込み対象の外部データ	14
5.2 IPDL データの取込み	14
5.2.1 テキストファイル(書誌+請求+図)の取込方法	14
5.2.2 テキストファイル(書誌+請求+詳細+全図)の取込方法	16
5.2.3 HTML ファイル(フロントページ)の取込方法	18
5.3 IPDL 経過記録データの取込み	20
5.3.1 テキストファイルの取込方法	20
5.3.2 HTML ファイルの取込方法	22
5.4 特許庁 ROM データの取込み	25
5.5 JP/WEB (CSV)データの取込み	26
5.6 CSV データの取込み	28
5.6.1 CSV データ取込み	28
5.6.2 項目対応表の登録	34
5.6.2 項目対応表の呼出	35
5.6.3 項目対応表の削除	36
5.7 PAT-LIST-JPS データの取込み	38
5.8 PAT-LIST CSV データの取込み	39
5.8.1 PAT-LIST CSV 形式ファイルの出力方法	39
5.8.2 PAT-LIST CSV 形式ファイルの取込方法	42

はじめに

ごあいさつ

この度は、当社製品をお買い上げくださりまして、誠にありがとうございます。

「PAT-LIST-GLS」は、日本、米国、欧州、中国などの特許情報を取り込み、調査・解析を行うためのソフトウェアです。特許情報を取り込み、PAT-LIST-GLS 形式ファイル(以後、TPL ファイルと略します)に変換すると、本ソフトウェアの機能を用いて、特許の様々な調査・解析が行えます。

本書は、「PAT-LIST-GLS」の、日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)の操作方法について説明したものです。本書を読み進めながら本ソフトウェアを操作しますと、一通りの操作ができるようになるように記述しています。本書で使用している画像について、実際のソフトの画面と一部異なることがあります。

「PAT-LIST-GLS」の米国特許調査・解析機能(「US」タブ)、欧州特許調査・解析機能(「ES」、「EW」、「EC」タブ)、中国特許調査・解析機能(「CN」タブ)、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の操作方法については、それぞれ別のユーザーズガイドをご用意しておりますので、そちらをご覧ください。



左のようなマークがある場合、重要な注意事項を記述しています。

本書の構成について

このマニュアルは、次に示す 5 つの章から構成されています。

第 1 章 本ソフトウェアの概要

この章では、本ソフトウェア全体の構成と画面について説明しています。

第 2 章 注意事項

この章では、サポート範囲に関するご注意を説明しています。

第 3 章 起動方法

この章では、本ソフトウェアの起動方法を説明しています。

第 4 章 初期画面と PAT-LIST 形式ファイルを開いた画面

この章では、最初の起動時と PAT-LIST 形式ファイルを開いた直後の画面を説明しています。

第 5 章 外部データ取り込み

この章では、本ソフトウェアにデータを取り込む方法について説明しています。

第1章 本ソフトウェアの概要

本章では、本ソフトウェア全体の構成と画面について説明しています。

1.1 本ソフトウェアの構成

本ソフトウェアには、以下の機能が含まれています。本書では、2番目の日本特許調査・解析機能の使用方法に関して説明します。他の調査・解析機能に関しましては、それぞれ別のユーザーズガイドを用意しておりますので、そちらをご参照ください。

No	名称	説明
1	統合 調査・解析機能	PAT-LIST 形式ファイルに含まれている各国特許を、特許ファミリーで関連付け、日本・米国・欧州（世界）・中国特許を1画面で閲覧できます。また、日本・米国・欧州（世界）・中国特許の帳票作成や特許マップ作成も可能です。
2	日本特許 調査・解析機能	PAT-LIST 形式ファイルに含まれている日本特許の閲覧・帳票作成・特許マップ作成が行えます。本書では、日本特許調査・解析機能の操作方法を説明します。
3	米国特許 調査・解析機能	PAT-LIST 形式ファイルに含まれている米国特許の閲覧・帳票作成・特許マップ作成が行えます。
4	欧州(世界)特許 調査・解析機能	PAT-LIST 形式ファイルに含まれている欧州(世界)特許の閲覧・帳票作成・特許マップ作成が行えます。Espacenet 用の「ES」、WPI/DWPI 用の「EW」、STN/CAPLUS 用の「EC」の3種類があります。
5	中国特許 調査・解析機能	PAT-LIST 形式ファイルに含まれている中国特許の閲覧・帳票作成・特許マップ作成が行えます。
6	シソーラス辞書 (オプション)	シソーラス辞書の作成および作成したシソーラス辞書を利用した特許マップ作成が行えるオプションです。

1.2 動作環境

OS	プロセッサ	ディスク容量	RAM
Windows Vista Windows 7 Windows 8/8.1	2GHz 以上の 32 ビット (x86) プロセッサを推奨	1GB 以上を推奨 ※インストールに必要なデ ィスク容量は約 120MB	2.0GB 以上を推奨
Microsoft Excel			
Excel 2000 から Excel 2010 まで対応			
ブラウザ			
Microsoft Internet Explorer 8 以上			

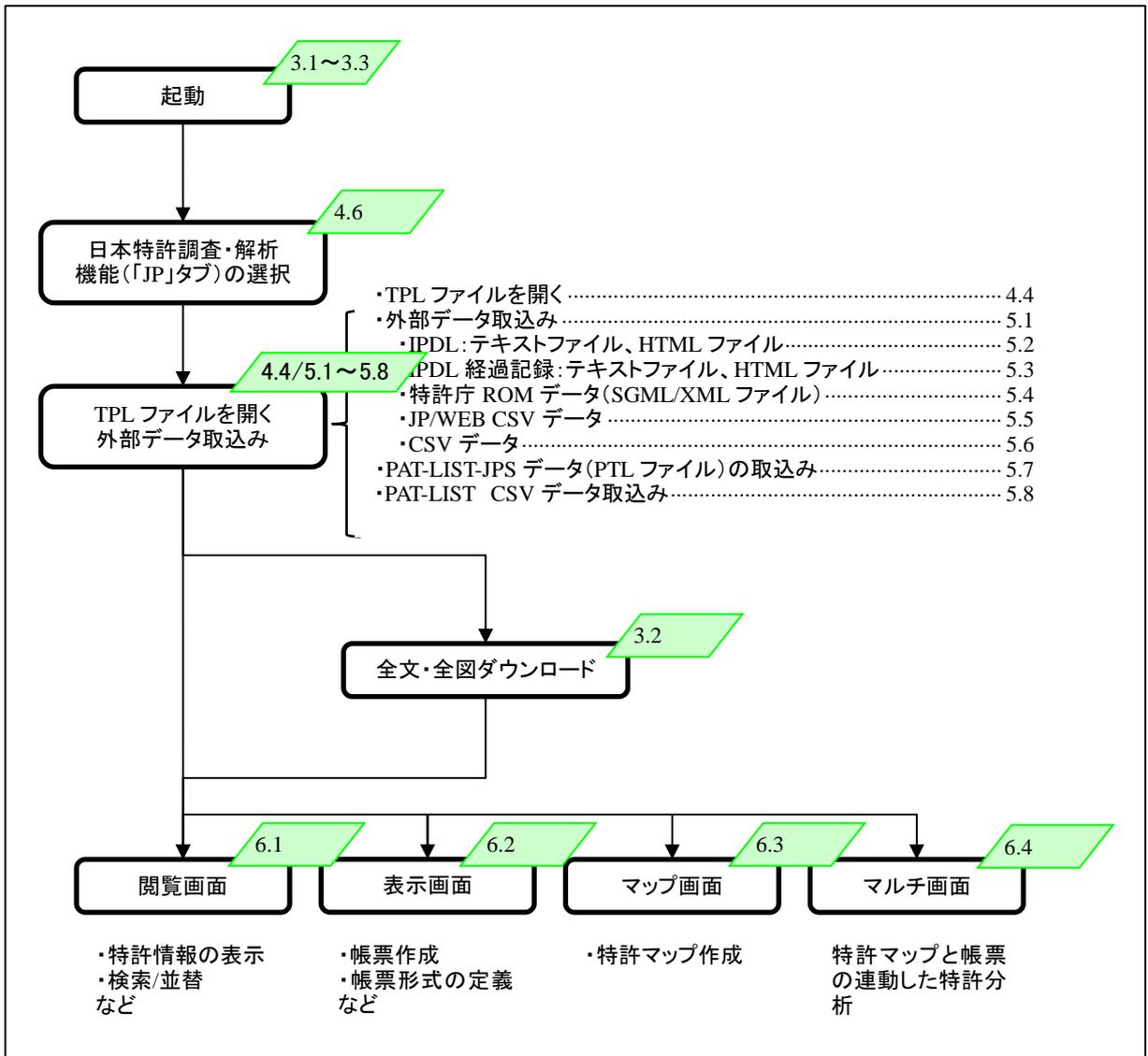
1.3 各特許調査・解析機能の画面

本ソフトウェアの各特許調査・解析機能には次の画面があります。

No	項目	説明
1	初期画面	本ソフトウェアの起動直後に表示される画面です。
2	閲覧画面	開いた TPL ファイルに含まれている特許文献を 1 文献ごとに閲覧できます。また特許文献の並び替えや検索なども行えます。
3	表示画面	特許文献リストの作成・表示・印刷・Excel 出力等を行えます。既定の帳票形式の他に、ユーザ帳票形式の作成も行えます。
4	マップ画面	XY 軸を設定して各種の特許マップを作成できます。
5	マルチ画面	画面を 2~4 分割し、特許マップと帳票を 1 画面に並べて表示できます。 (※ 統合調査・解析機能にはマルチ画面はありません。)

1.4 処理の概要

本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能の処理は、以下の通りです。平行四辺形の中には、参照節を表記しています。



第2章 注意事項

以下の場合には、お問い合わせに対する回答ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

1. 本製品で保証している動作環境以外でのお問い合わせ
2. 本製品とは直接関係のないハードウェア、または他社製品に関するお問い合わせ
3. 本製品を利用したネットワーク管理や、ネットワーク機器の設定に関わる問題
4. サポート時間外のサポート、及びお客様への出張を伴うサポート

第3章 起動方法

本ソフトウェアの起動には、いくつか方法があります。

3.1 デスクトップ ショートカットアイコンによる起動

本ソフトウェアをインストールすると、デスクトップにショートカットアイコンが作成されます。このショートカットアイコンで本ソフトウェアを起動できます。

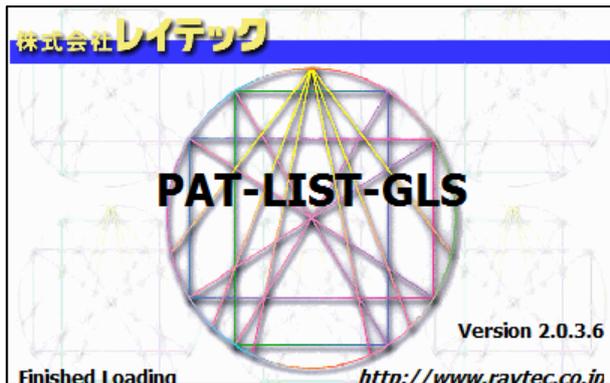
1. デスクトップ上にある、ショートカットキーをダブルクリックします。



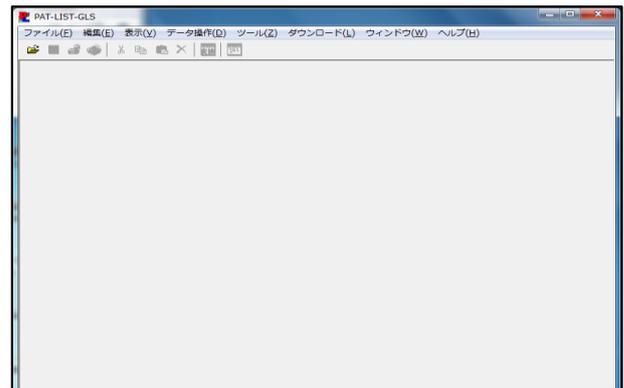
2. 「PAT-LIST-GLS2.0」のアイコンをダブルクリックします。



本ソフトウェア が起動し、初期画面が次のように表示されます。



起動中の画面

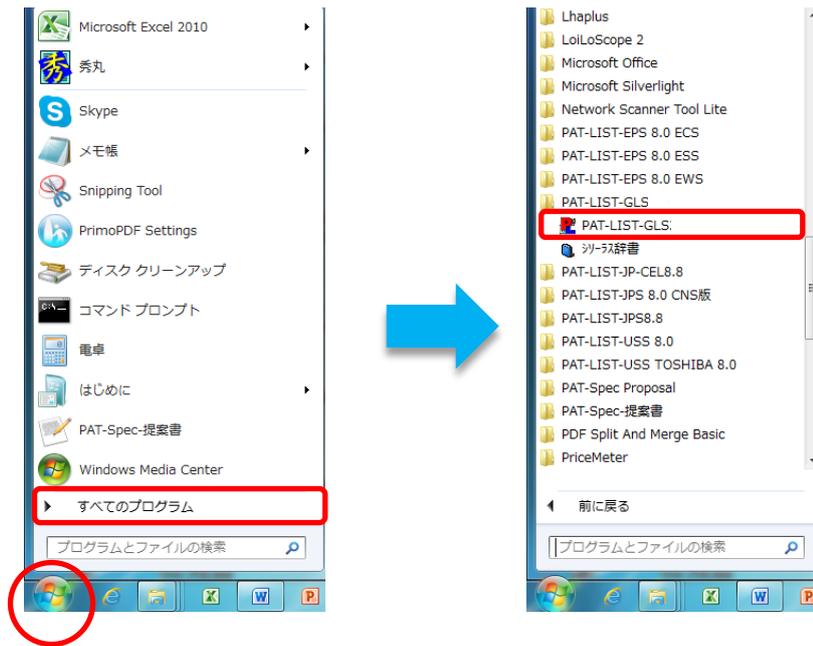


起動後の初期画面

3.2 スタートメニューからの起動

通常の Windows アプリケーションソフトウェアと同様に、本ソフトウェアもスタートメニューから起動することができます。

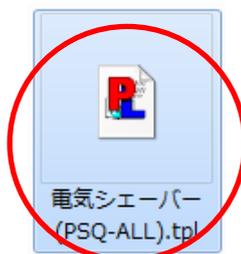
1. Windows 7 の場合、画面の左下にあるスタートボタンをクリックします。
2. 「すべてのプログラム」を選択して、「PAT-LIST-GLS」→「PAT-LIST-GLS」を選択します。



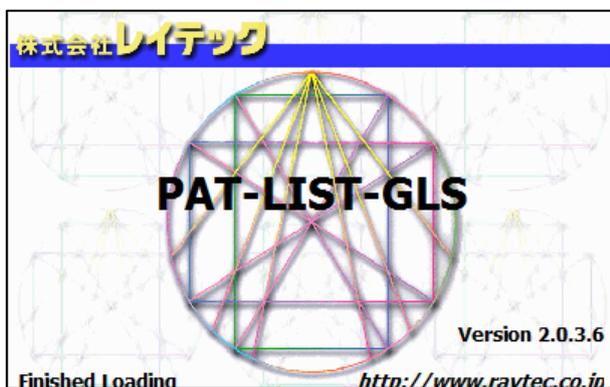
デスクトップのショートカットアイコンで起動した時と同様に、起動した後で初期画面が表示されます。

3.3 PAT-LIST 形式ファイルのアイコンによる起動

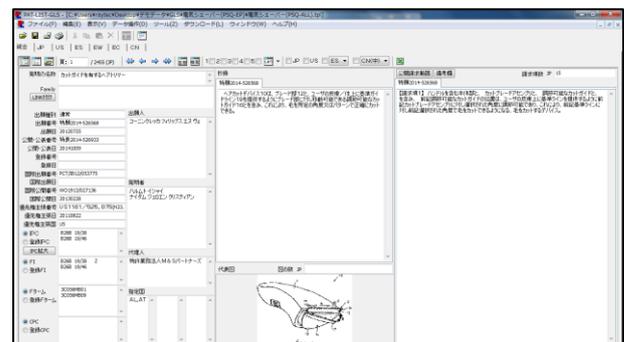
TPL ファイル(拡張子が“TPL”のファイル)のアイコンをダブルクリックしても、本ソフトウェアを起動できます。



本ソフトウェアが起動した後、初期画面は表示されず、「統合特許調査・解析機能」の閲覧画面が現れ、ダブルクリックして開いた TPL ファイルに含まれる最初の特許文献の情報が表示されます。



起動中の画面

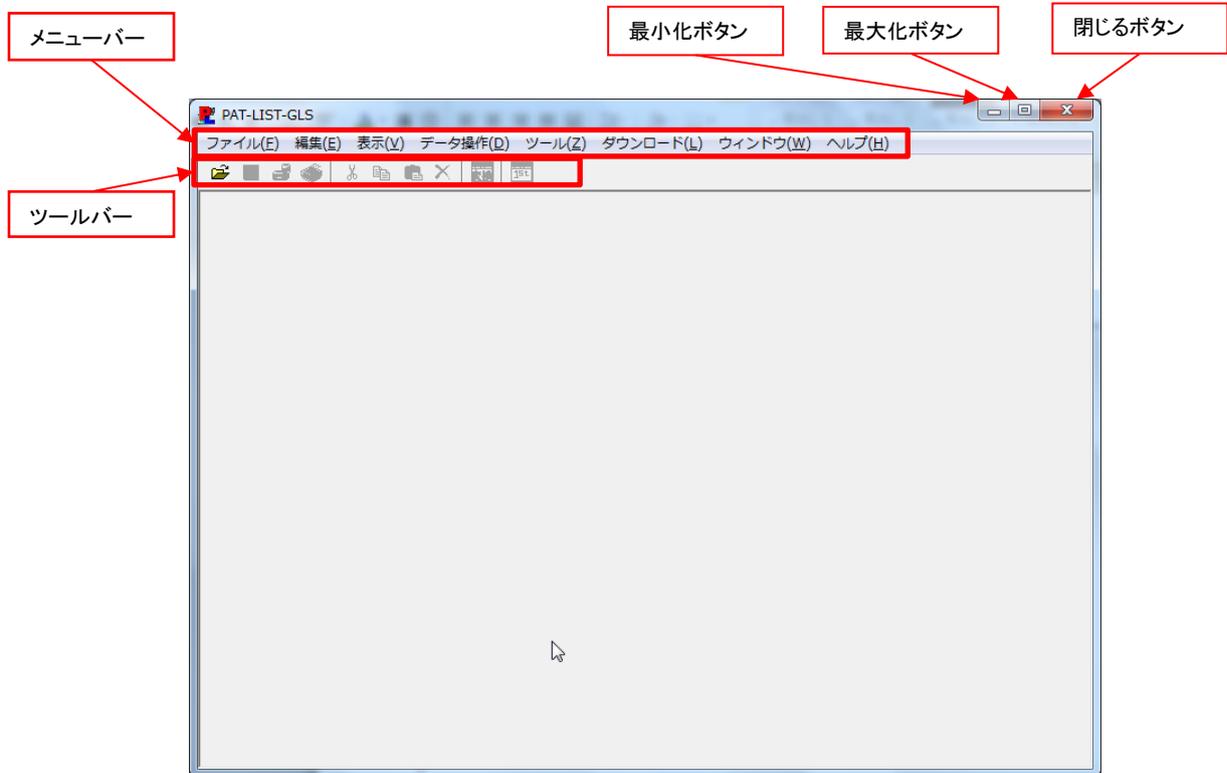


起動後の閲覧画面

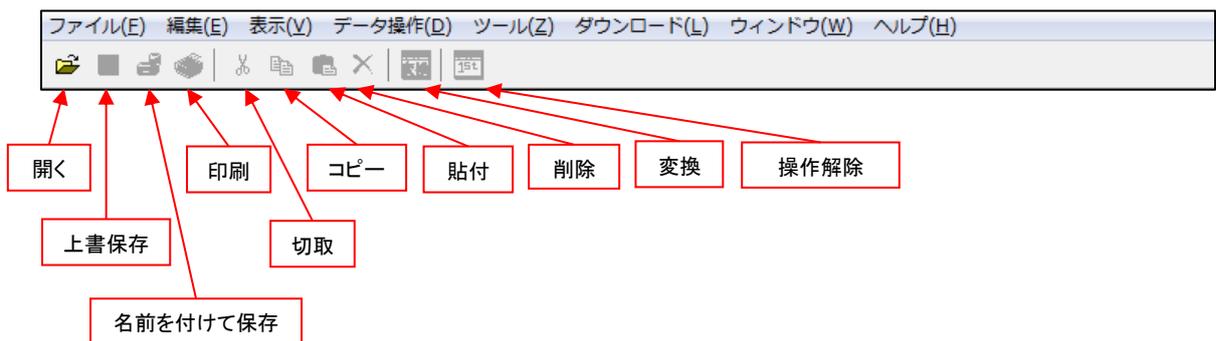
第4章 初期画面と PAT-LIST 形式ファイルを開いた直後の画面

4.1 初期画面の構成

デスクトップのショートカットアイコンで本ソフトウェアを起動した後に表示される初期画面を説明します。



初期画面にあるツールバーのボタンは次の通りです。



4.2 メニューの構成

本ソフトウェアで提供する初期画面のメニューバーのコマンドは以下の通りです。

4.2.1 「ファイル」メニュー

サブメニュー	操作の内容
開く	選択した TPL ファイルを開きます。
最近使ったファイル	最近使った TPL ファイルの中から選択したファイルを開きます。
上書き保存	TPL ファイルを上書き保存します。
名前をつけて保存	TPL ファイルとして名前を付けて保存します。
閉じる	現在開いている TPL ファイルを閉じます。
外部データ取込	IPDL データ、CSV データ等を取り込んで TPL ファイルを作成します。
PAT-LIST CSV データ	PAT-LIST CSV ファイルを取込または出力します。
データファイル更新	現在開いている TPL ファイルに、指定した TPL ファイルの情報を追加して、データ更新を行います。
印刷設定	プリンタ等の設定メニューを表示します。
印刷	印刷をします。
終了	PAT-LIST-GLS を終了します。

4.2.2 「編集」メニュー

サブメニュー	操作の内容
マップリセット	特許マップを初期状態に戻ります。
元に戻す	一つ前の操作に戻ります。
やり直し	一つ後の操作をやり直しになります。
切り取り	選択されたものを切り取ってクリップボードに貼り付けます。
コピー	選択されたものをコピーします。
貼り付け	クリップボードのものをカーソルの位置に貼り付けます。
辞書	「辞書の編集」または「ユーザ辞書の追加/削除」画面を開きます。

4.2.3 「表示」メニュー

サブメニュー	操作の内容
閲覧画面	「閲覧画面」に移行します。
表示画面	「表示画面」に移行します。
マップ画面	「マップ画面」に移行します。
マルチ画面	「マルチ画面」に移行します。
フォント設定	「フォント」設定画面を開きます。
更新処理マークを解除	「データファイル更新」で追加・更新箇所を示す「表示画面」の青色下線表示を解除し、通常の黒色表示にします。

4.2.4 「データ操作」メニュー

サブメニュー	操作の内容
変換	取り込んだ特許情報ファイルを TPL ファイルに変換します。
並替え	「並替」画面を開きます。
検索	「検索」画面を開きます。
初期状態に戻す	並び替え、検索を解除して、元の閲覧画面に戻ります。
↔ 先頭	先頭頁の文献へ戻ります。
← 前頁	前頁の文献へ戻ります。
→ 次頁	次頁の文献へ進みます。
⇒ 末尾	末尾の文献へ進みます。

4.2.5 「ツール」メニュー

サブメニュー	操作の内容
備考と TPL の結合	備考データ保存ファイルを元に備考欄データを修復する画面を開きます。
オプション	備考欄自動保存時間間隔を設定します。
ユーザ情報	ユーザデータのファイル書き出し、取り込みを行います。
TPL 合成	複数の TPL ファイルを合成して、1つの TPL ファイルにします。
シソーラス辞書	オプションのシソーラス辞書を起動します。

4.2.6 「ダウンロード」メニュー

サブメニュー	操作の内容
項目選択更新	レイテック社のサーバーに接続し、ダウンロードをする項目を選択します。
ダウンロードの設定	プロキシサーバーとの通信形式を設定します。

4.2.7 「ウィンドウ」メニュー

サブメニュー	操作の内容
重ねて表示	開いている複数の TPL ファイルを重ねて表示します。
水平に並べて表示	開いている複数の TPL ファイルを水平に並べて表示します。
垂直に並べて表示	開いている複数の TPL ファイルを垂直に並べて表示します。
すべてを最小化	開いている複数の TPL ファイルを全て最小化したアイコンで表示します。
アイコンの整列	最小化している TPL ファイルのアイコンを整列します。

4.2.8 「ヘルプ」メニュー

サブメニュー	操作の内容
目次	本ソフトウェアのヘルプ画面へリンクします。(インターネットに接続が必要です。本ソフトのユーザーズガイドがご覧になれます。)
バージョン情報	本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

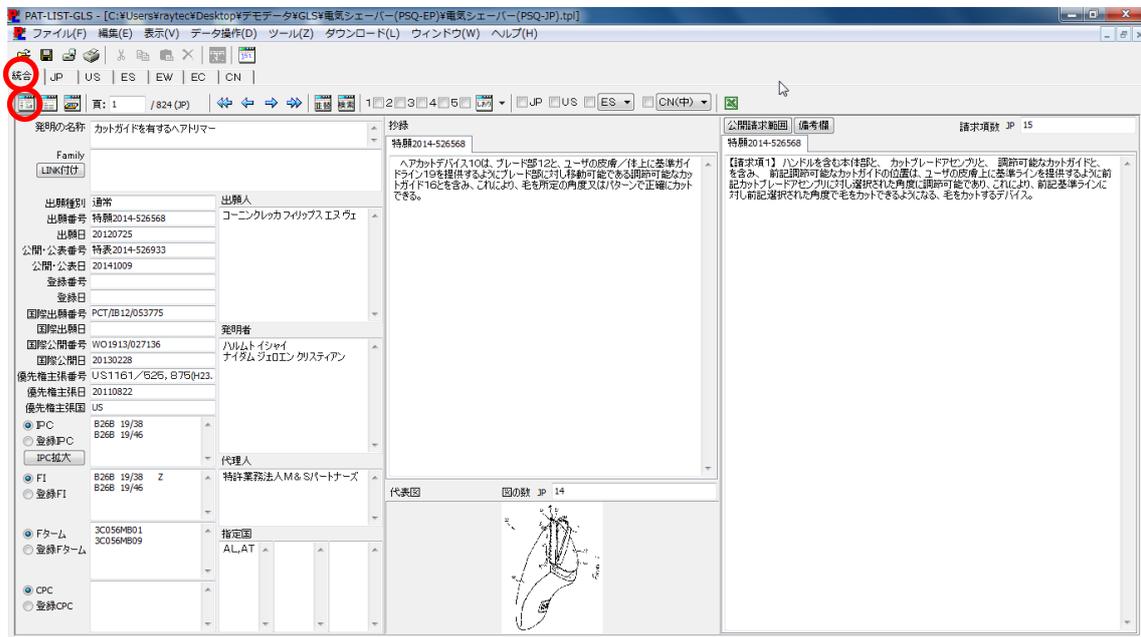
4.3 ツールバーの構成

本ソフトウェアの初期画面にあるツールバーのボタンは以下の通りです。

ボタン		機能
	開く	既存の TPL ファイル (*.TPL) を開きます。PAT-LIST-JPS の PTL ファイルを指定した場合は、TPL ファイルに変換した後、開きます。
	上書き保存	開いている TPL ファイルを上書き保存します。
	別名保存	開いている TPL ファイルに名前を付けて保存します。
	印刷	画面、帳票を印刷します。
	切り取り	選択したテキストを切り取ります。
	コピー	選択したテキストをコピーします。
	貼り付け	カーソル位置にクリップボードにコピーしたテキストを貼り付けます。
	削除	選択したテキストを削除します。
	変換	取り込んだ特許情報ファイルを TPL ファイルに変換します。
	初期状態に戻す	並び替えや検索を解除して表示を元に戻します。

4.4 TPL ファイルを開いた後の画面

本ソフトウェアで TPL ファイルを開くと、次のように統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」が表示されます。



4.5 各国特許調査・解析機能の切替タブ

ツールバーの下側には、「統合」、「JP」、「US」、「ES」、「EW」、「EC」、「CN」の7つタブがあり、各国特許調査・解析機能を切り替えることができます。本書では、「JP」タブの日本特許調査・解析機能について説明します。他の特許調査・解析機能については、個々にユーザーズガイドを用意していますので、そちらをご参照ください。

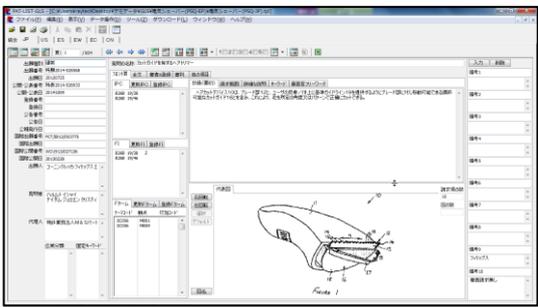
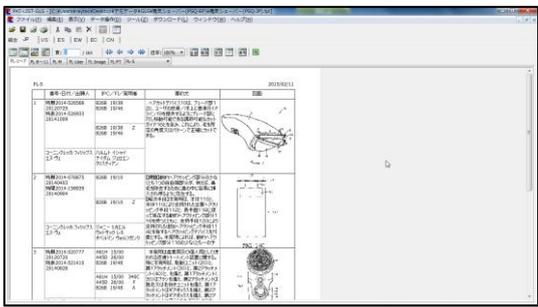
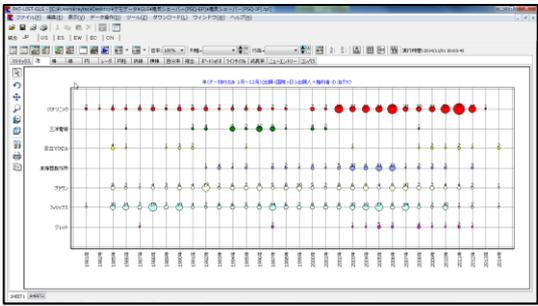
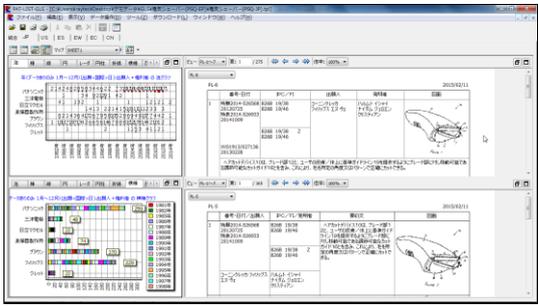


特許調査・解析機能切替タブ

タブ	機能	
統合	統合	開いている TPL ファイルに複数の国の特許データが含まれている場合、特許ファミリでリンク付して、同じ特許ファミリの各国特許を 1 画面に同時表示できます。
JP	日本	開いている TPL ファイルに含まれている日本の特許を閲覧・分析できます。
US	米国	開いている TPL ファイルに含まれている米国の特許を閲覧・分析できます。
ES	欧州	開いている TPL ファイルに含まれている欧州の特許を閲覧・分析できます。Espacenet の特許データを取込対象にしています。
EW	欧州	開いている TPL ファイルに含まれている欧州の特許を閲覧・分析できます。WPI/DWPI の特許データを取込対象にしています。
EC	欧州	開いている TPL ファイルに含まれている欧州の特許を閲覧・分析できます。STN/CAPLUS の特許データを取込対象にしています。
CN	中国	開いている TPL ファイルに含まれている中国の特許を閲覧・分析できます。

4.6 日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)の画面

本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能には、閲覧画面、表示画面、マップ画面、マルチ画面の4つの画面があります。次章では、日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)の閲覧画面について説明します。

① 閲覧画面	② 表示画面
	
③ マップ画面	④ マルチ画面
	

第5章 外部データ取込み

本ソフトウェアは、様々な特許情報を取り込むことができます。ここでは、外部データの取込方法を説明します。

5.1 取込み対象の外部データ

本ソフトウェアは、商用特許検索システムの検索結果をダウンロードした CSV ファイルをはじめ、当社 JP/WEB 国内特許検索システムからダウンロードした CSV ファイル、特許庁発行の電子公報 DVD (庁 ROM)、当社製品の PAT-LIST-JPS で作成した PTL ファイル、PAT-LIST-JPS または本ソフトウェアから出力した日本特許の CSV ファイルなどを取り込んで、TPL ファイルに変換できます。

《標準対応》		
対象	データ形式	内容
IPDL	テキストファイル(書誌+請求+図)	日本特許公報のテキストファイルと図面ファイル
	テキストファイル(書誌+請求+詳細+全図)	
	HTML ファイル(フロントページ)	日本特許公報の HTML ファイル
IPDL 経過記録	テキストファイル	日本特許の経過記録テキストファイル
	HTML ファイル	日本特許の経過記録 HTML ファイル
庁 ROM データ	TXT/SGML/XML ファイル	特許庁が発行している特許公報データ
JP/WEB (CSV)	CSV ファイル	当社 JP/WEB 国内特許検索システムの CSV ファイル
CSV データ	CSV ファイル	商用特許検索システムの CSV ファイル
PAT-LIST	PTL ファイル	PAT-LIST-JPS で作成した PTL ファイル
PAT-LIST CSV	CSV ファイル	PAT-LIST-JPS または本ソフトウェアから出力した日本特許の CSV ファイル
《カスタマイズ対応》		
対象	データ形式	内容
Shareresearch	CSV/HTML ファイル	各商用特許検索システムの特許データに最適化した外部データ取込機能をカスタマイズで追加できます。
NR1 CPD2	CSV ファイル	
PatentSQUARE	CSV ファイル	
JP-NET	CSV ファイル	
HYPAT-i など	CSV ファイル	

5.2 IPDL データの取込み

当社が以前販売していた「IPDL 検索ソフトウェア」または「UIE 検索ソフトウェア」で、IPDL (特許電子図書館) よりダウンロードした特許公報データ(テキストファイル(*.TXT)、または HTML ファイル(*.HTM))を取り込む方法について説明します。

5.2.1 テキストファイル(書誌+請求+図)の取込方法

「IPDL 検索ソフトウェア」または「UIE 検索ソフトウェア」で、「書誌+要約」と「代表図」をダウンロードすると、下記のテキストファイルと図面ファイルが作成されます。

特開 2001-015118.txt..... 書誌+要約+請求範囲の公報情報を含むテキストファイル(必須)
 特開 2001-015118 代表図.gif..... 代表図の GIF 形式ファイル

「IPDL 検索ソフトウェア」や「UIE 検索ソフトウェア」を使用しなくても、書誌+要約+請求範囲の公報情報を含むテキストファイルや、代表図の画像ファイルであれば、取り込むことができます。テキストファイルの文字コードは「Shift-JIS」のみ対応しています。また、代表図はファイル名で識別しますので、ファイル名が「公開・公表番号」+「代表図」になっている必要があります。その他のファイル名が付いている場合、代表図は取り込まれません。



テキストファイルの文字コードは「Shift-JIS」にのみ対応しています。他の文字コードの場合は「Shift-JIS」に変換する必要があります。



代表図の画像ファイル形式は、「BMP」、「GIF」、「JPG」の 3 形式に対応しています。「PNG」、「TIF」などの画像形式には対応していませんので、「BMP」、「GIF」、「JPG」のいずれかに変換する必要があります。

IPDL テキストファイルの取り扱いは次の手順で行います。

1. メニューバーから「ファイル」→「外部データ取込」→「JP」→「IPDL」→「テキストファイル(書誌+請求+図)」を選択します。

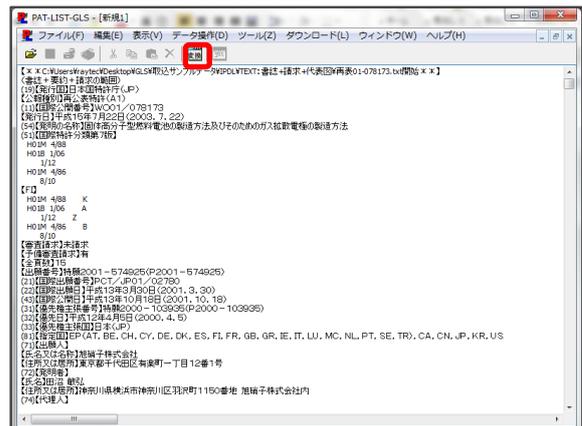


2. 「IPDL データを読み込む」画面が表示されます。取り込む TXT ファイルを選択して、**開く(O)** をクリックします。

SHIFT キーや **CTRL** キーを押しながらクリックすると、同時に複数のファイルを選択できます。また、**CTRL** + **A** キーを押すと、すべてのファイルを選択できます。



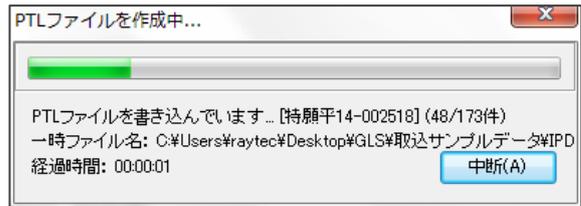
3. 選択したファイルのテキストファイルの内容が表示されます。**変換** をクリックします。



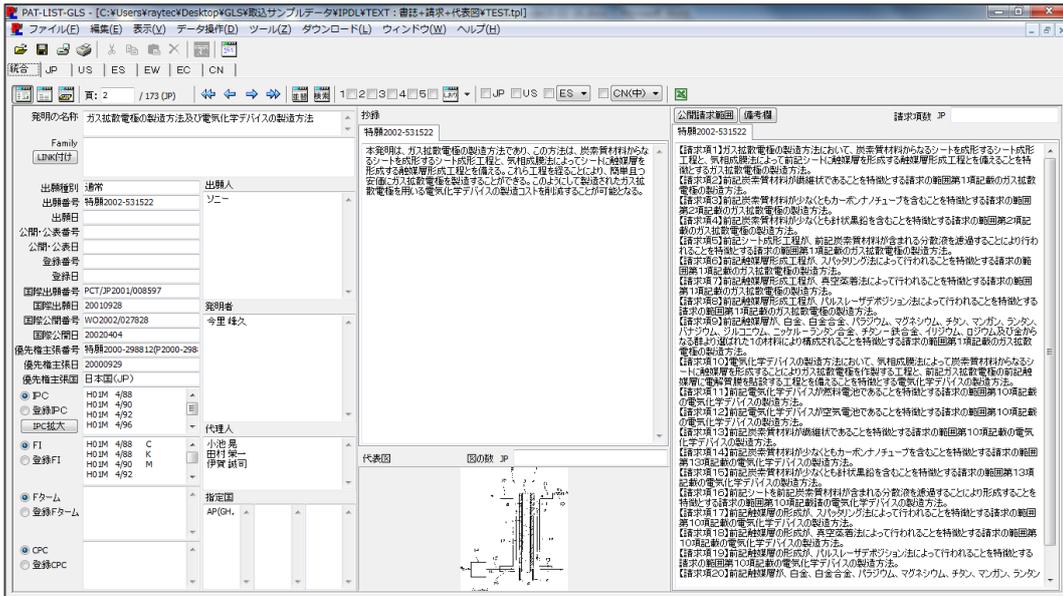
4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力して、**保存(S)** をクリックします。



データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文獻が表示されます。



5.2.2 テキストファイル(書誌+請求+詳細+全図)の取込方法

「IPDL 検索ソフトウェア」または「UIE 検索ソフトウェア」で、「書誌+要約」、「代表図」、「詳細な説明」をダウンロードすると、下記のテキストファイルと図面ファイルが作成されます。

特開 2001-015118.txt.....「書誌」+「要約」+「請求範囲」の公報情報を含むテキストファイル(必須)

特開 2001-015118 詳細な説明.txt「発明の詳細な説明」の公報情報を含むテキストファイル

特開 2001-015118 代表図.gif..... 代表図の GIF 形式ファイル

さらに「図面」をダウンロードすると下記のテキストファイルが作成されます。

特開 2001-015118. 図面の説明 txt「図面の簡単な説明」の公報情報を含むテキストファイル

「IPDL 検索ソフトウェア」や「UIE 検索ソフトウェア」を使用しなくても、全文の公報情報を含むテキストファイルや代表図の画像ファイルであれば、取り込むことができます。テキストファイルの文字コードは「Shift-JIS」にのみ対応しています。また、代表図はファイル名で識別しますので、ファイル名が「公開・公表番号」+「代表図」になっている必要があります。その他のファイル名が付いている場合、代表図は取り込まれません。



テキストファイルの文字コードは「Shift-JIS」にのみ対応しています。他の文字コードの場合は「Shift-JIS」に変換する必要があります。



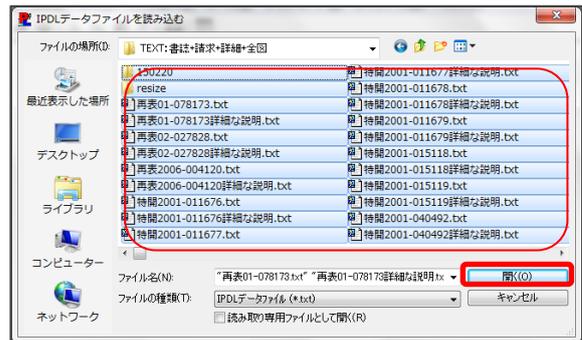
代表図の画像ファイル形式は、「BMP」、「GIF」、「JPG」の 3 形式に対応しています。「PNG」、「TIF」などの画像形式には対応していませんので、「BMP」、「GIF」、「JPG」のいずれかに変換する必要があります。

IPDL テキストファイルの取り扱いは次の手順で行います。

1. メニューバーから「ファイル」→「外部データ取込」→「JP」→「IPDL」→「テキストファイル(書誌+請求+詳細+全図)」を選択します。

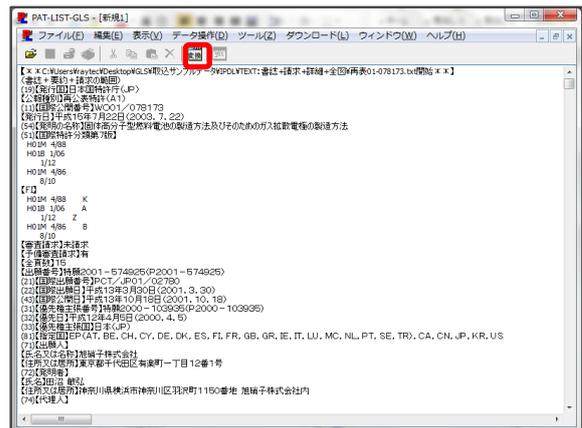


2. 「IPDL データを読み込む」画面が表示されます。取り込む TXT ファイルを選択して、**開く(O)** をクリックします。



SHIFT キーや CTRL キーを押しながらクリックすると、同時に複数のファイルを選択できます。また、CTRL + A キーを押すと、すべてのファイルを選択できます。

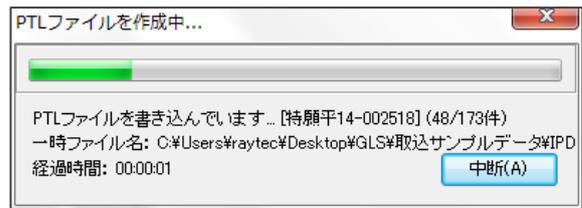
3. 選択したファイルのテキストファイルの内容が表示されます。**変換** をクリックします。



4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力して、**保存(S)** をクリックします。



データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文が表示されます。



5.2.3 HTML ファイル(フロントページ)の取込方法

「IPDL 検索ソフトウェア」および「UIE 検索ソフトウェア」で、「書誌+要約」をダウンロードすると、下記の HTML ファイルが作成されます。

特開 2001-015118.htm 「書誌」+「要約」など公報のフロントページ情報を含む HTML ファイル

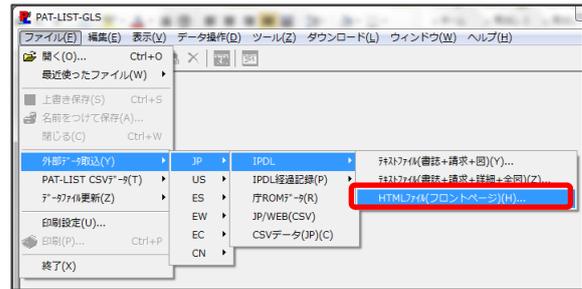
「IPDL 検索ソフトウェア」や「UIE 検索ソフトウェア」を使用しなくても、公報情報を含む HTML ファイルであれば、取り込むことができます。ただし、HTML ファイルの文字コードは「Shift-JIS」にのみ対応しています。



HTML ファイルの文字コードは「Shift-JIS」にのみ対応しています。他の文字コードの場合は「Shift-JIS」に変換する必要があります。

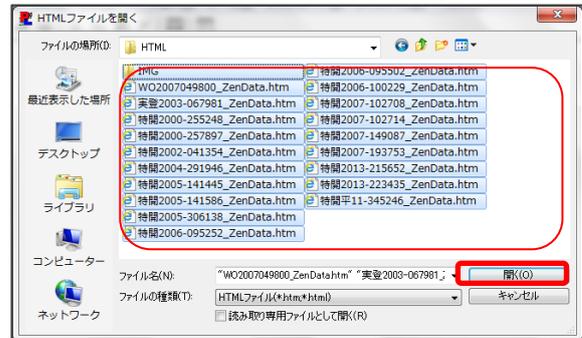
IPDL HTML ファイルの取り込は次の手順で行います。

1. メニューバーから「ファイル」→「外部データ取込」→「JP」→「IPDL」→「HTML ファイル(フロントページ)」を選択します。

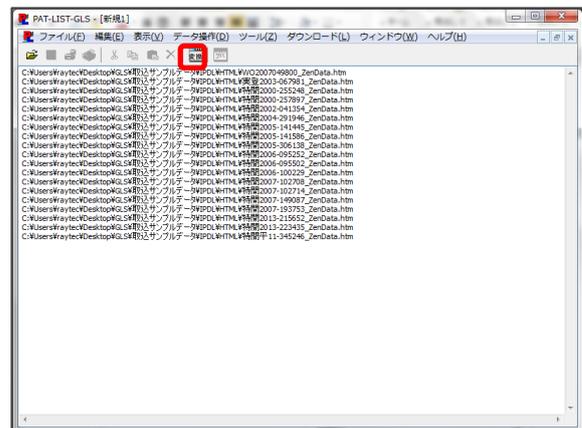


2. 「HTML ファイルを開く」画面が表示されます。取り込む HTML ファイルを選択して、**開く(O)** をクリックします。

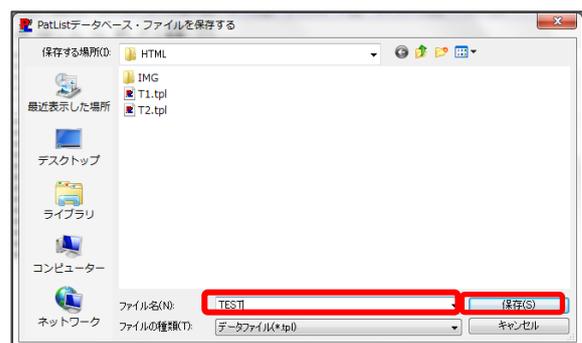
SHIFT キーや **CTRL** キーを押しながらクリックすると、同時に複数のファイルを選択できます。また、**CTRL** + **A** キーを押すと、すべてのファイルを選択できます。



3. 選択したファイルのテキストファイルの内容が表示されます。**変換** をクリックします。



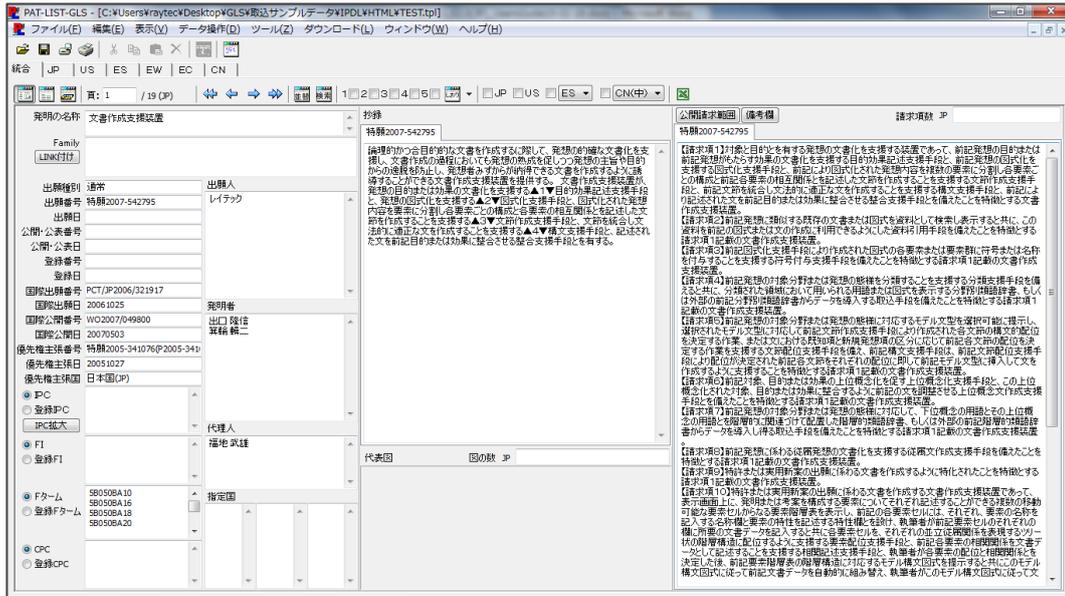
4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力して、**保存(S)** をクリックします。



データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文献が表示されます。



5.3 IPDL 経過記録データの取込み

当社で以前販売していた「IPDL 経過記録検索ソフトウェア」で、IPDL (特許電子図書館) よりダウンロードした経過記録データ (テキストファイル (*.TXT)、または HTML ファイル (*.HTM)) を取り込む方法について説明します。

5.3.1 テキストファイルの取込方法

「IPDL 経過記録検索ソフトウェア」で、経過記録をダウンロードすると、下記のテキストファイルが作成されます。

- 2000-015437_kihon.txt..... 経過記録の「基本項目」を含むテキストファイル (必須)
- 2000-015437_syutu.txt..... 経過記録の「出願情報」を含むテキストファイル (必須)
- 2000-015437_touroku.txt..... 経過記録の「登録情報」を含むテキストファイル
- 2000-015437_sinpan.txt..... 経過記録の「審判情報」を含むテキストファイル

「IPDL 経過記録検索ソフトウェア」を使用しなくても、経過記録を含むテキストファイルであれば、取り込むことができます。テキストファイルの文字コードは「Shift-JIS」にのみ対応しています。また、ファイル名は基本項目を含む場合は「出願番号」+「_kihon.txt」、出願情報を含む場合は「出願番号」+「_syutu.txt」、登録情報を含む場合は「出願番号」+「_touroku.txt」、そして審判情報を含む場合は「出願番号」+「_sinpan.txt」にする必要があります。



テキストファイルの文字コードは「Shift-JIS」にのみ対応しています。他の文字コードの場合は「Shift-JIS」に変換する必要があります。

IPDL 経過記録テキストファイルの取り込みは次の手順で行います。

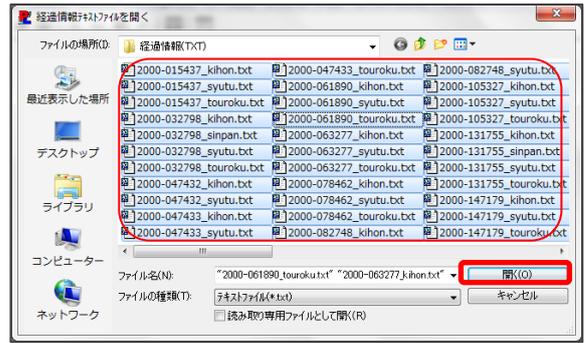
1. メニューバーから「ファイル」→「外部データ取込」→「JP」→「IPDL 経過記録」→「テキストファイル」を選択します。



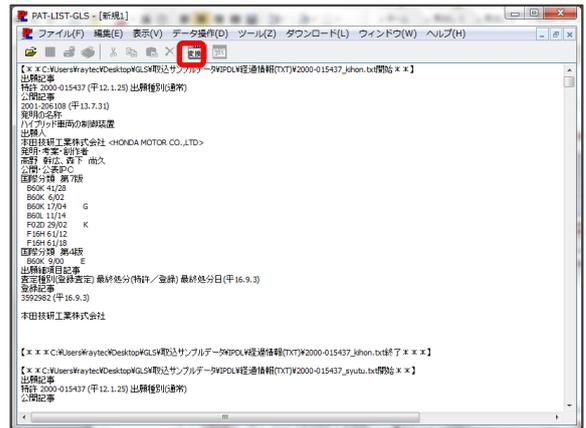
2. 「経過情報テキストファイルを開く」画面が表示されます。取り込む TXT ファイルを選択して、**開く(O)** をクリックします。

SHIFT キーや **CTRL** キーを押しながらクリックすると、同時に複数のファイルを選択できます。

また、**CTRL** + **A** キーを押すと、すべてのファイルを選択できます。



3. 選択したファイルのテキストファイルの内容が表示されます。**変換** をクリックします。



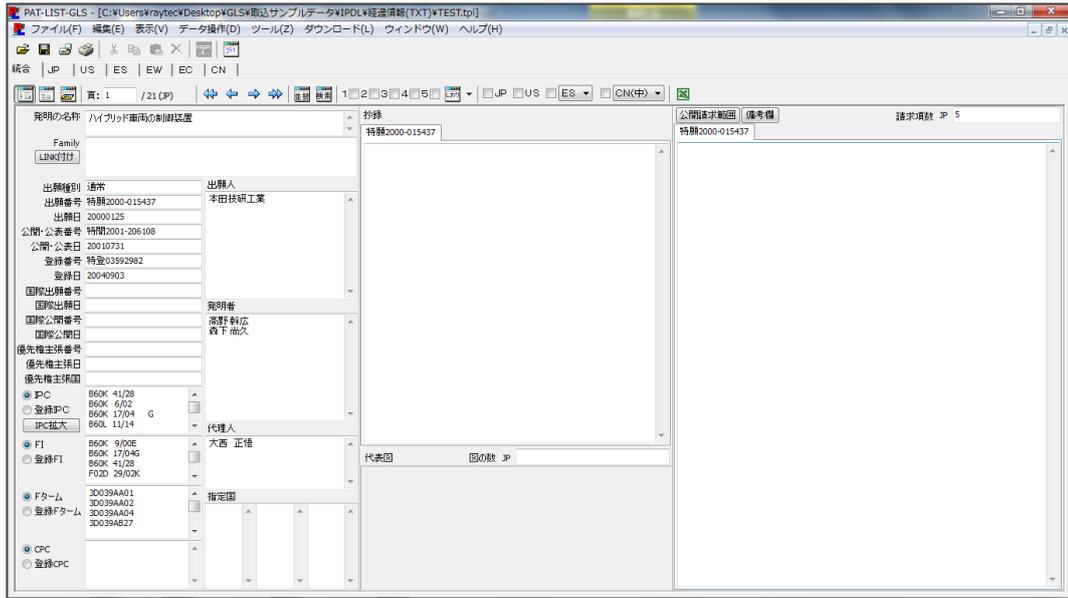
4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力して、**保存(S)** をクリックします。



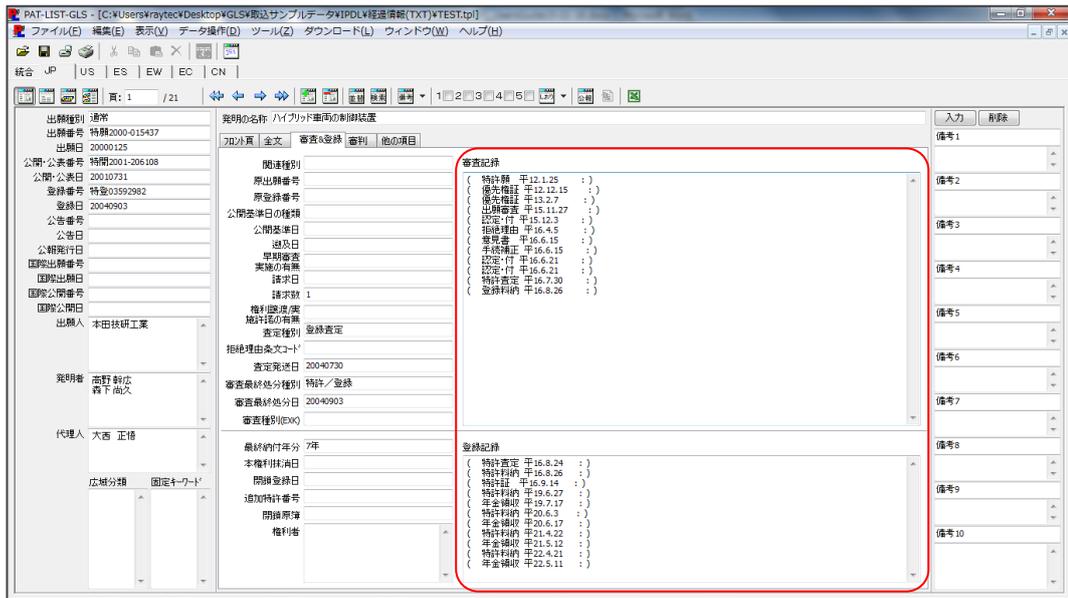
データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ経過情報の最初の文献が表示されます。



日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)の閲覧画面で、「審査 & 登録」タブを選択すると、次のように取り込んだ経過情報を確認できます。



5.3.2 HTML ファイルの取込方法

「IPDL 経過記録検索ソフトウェア」で、経過記録をダウンロードすると、下記の HTML ファイルが作成されます。

- 2000-015437_kihon.htm..... 経過記録の「基本項目」を含む HTML ファイル
- 2000-015437_syutu.htm..... 経過記録の「出願情報」を含む HTML ファイル
- 2000-015437_touroku.htm 経過記録の「登録情報」を含む HTML ファイル
- 2000-015437_sinpan.htm..... 経過記録の「審判情報」を含む HTML ファイル

「IPDL 経過記録検索ソフトウェア」を使用しなくても、経過記録を含む HTML ファイルであれば、取り込むことができます。ただし、HTML ファイルの文字コードは「Shift-JIS」にのみ対応しています。また、ファイル名は基本項目を含む場合は「出願番号」+「_kihon.htm」、出願情報を含む場合は「出願番号」+「_syutu.htm」、登録情報を含む場合は「出願番号」+

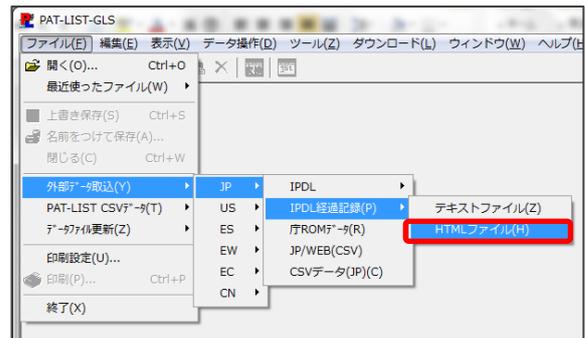
「_touroku.htm」、そして審判情報を含む場合は「出願番号」+「_sinpan.htm」にする必要があります。



HTML ファイルの文字コードは「Shift-JIS」にのみ対応しています。他の文字コードの場合は「Shift-JIS」に変換する必要があります。

IPDL 経過記録 HTML ファイルの取り扱いは次の手順で行います。

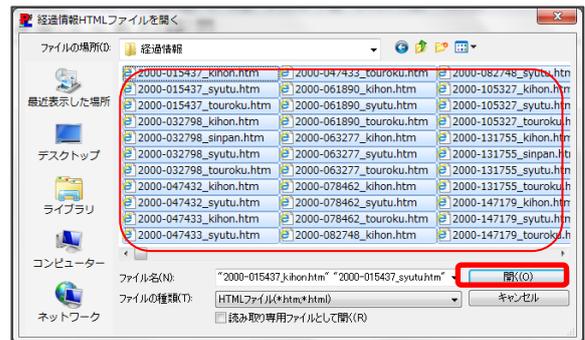
1. メニューバーから「ファイル」→「外部データ取込」→「JP」→「IPDL 経過記録」→「HTML ファイル」を選択します。



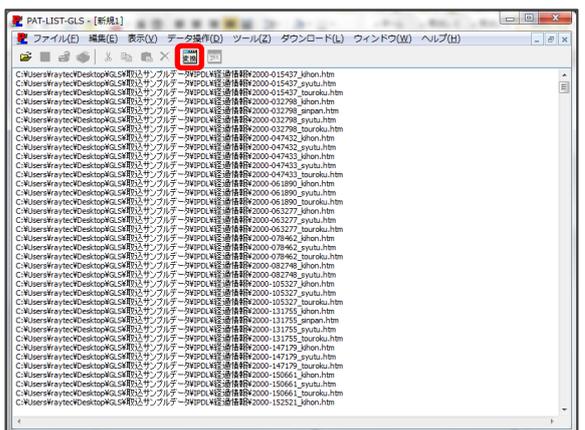
2. 「経過情報 HTML ファイルを開く」画面が表示されます。取り込む HTML ファイルを選択して、**開く(O)** をクリックします。

SHIFT キーや **CTRL** キーを押しながらクリックすると、同時に複数のファイルを選択できます。

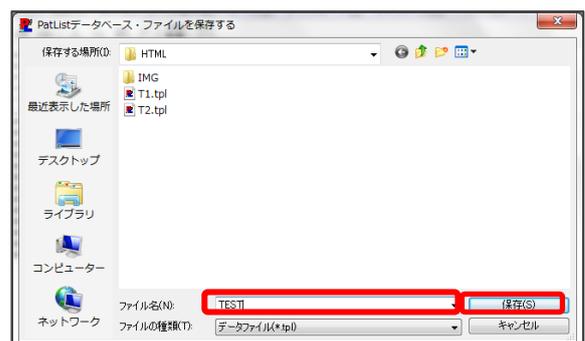
また、**CTRL**+**A** キーを押すと、すべてのファイルを選択できます。



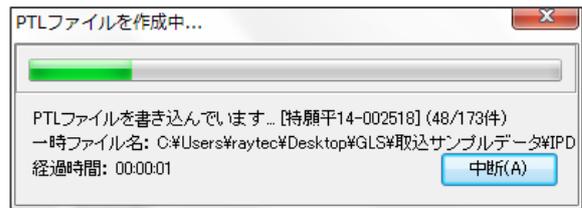
3. 選択したファイルのテキストファイルの内容が表示されます。**変換** をクリックします。



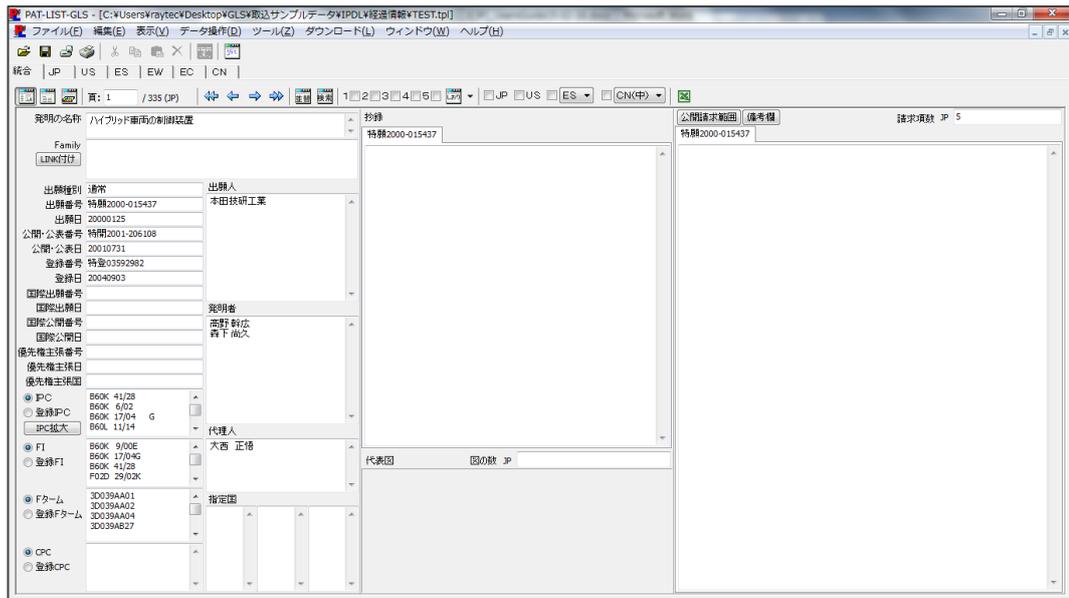
4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力して、**保存(S)** をクリックします。



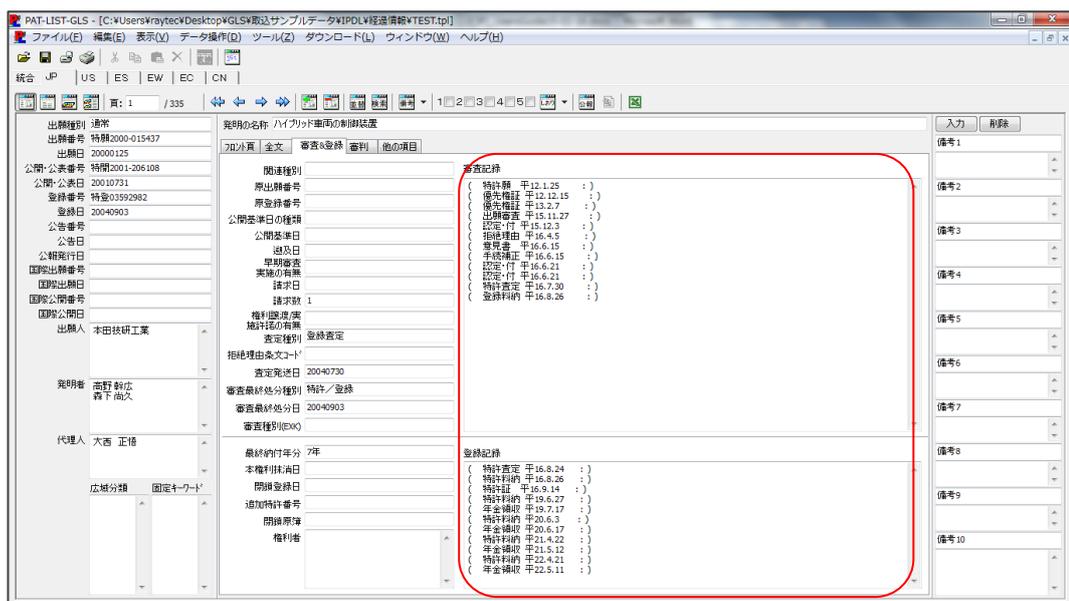
データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文が表示されます。



日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)の閲覧画面で、「審査&登録」タブを選択すると、次のように取り込んだ経過情報を確認できます。



5.4 特許庁 ROM データの取込み

ここでは特許庁の CD-ROM または DVD-ROM のデータを、PAT-LIST に取込む方法について説明します。データの取込を始める前に、CD-ROM または DVD-ROM のデータをあらかじめパソコンのハードディスクに保存してください。また自動的に図面をリンクさせるために、画像ファイルとテキストファイルを同じフォルダに保存してください。

特許庁 ROM データ(TXT/SGML/XML データ)の取込み手順は以下の通りです。

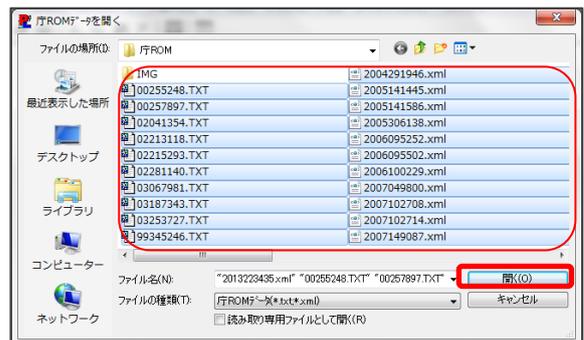
1. メニューバーから、「ファイル」→「外部データ取込」→「JP」→「庁 ROM データ」を選択します。



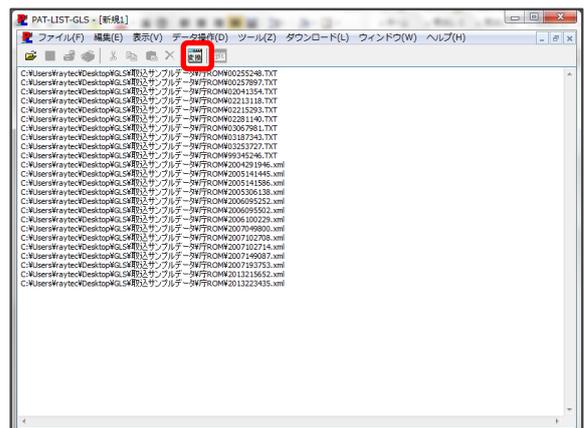
2. 「庁 ROM データを開く」画面が表示されます。取り込む TXT、SGML、XML ファイルを選択して、**開く(O)** をクリックします。

SHIFT キーや **CTRL** キーを押しながらクリックすると、同時に複数のファイルを選択できます。

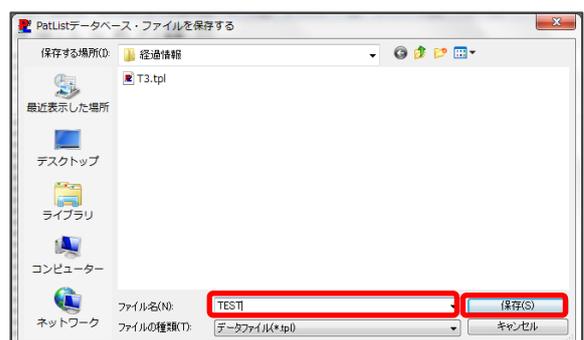
また、**CTRL** + **A** キーを押すと、すべてのファイルを選択できます。



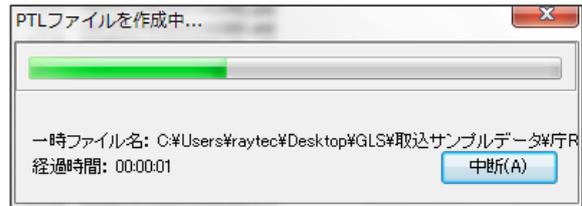
3. 選択したファイルのファイル名がフルパス形式で表示されます。**変換** をクリックします。



4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力して、**保存(S)** をクリックします。



データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文が表示されます。



5.5 JP/WEB (CSV)データの取込み

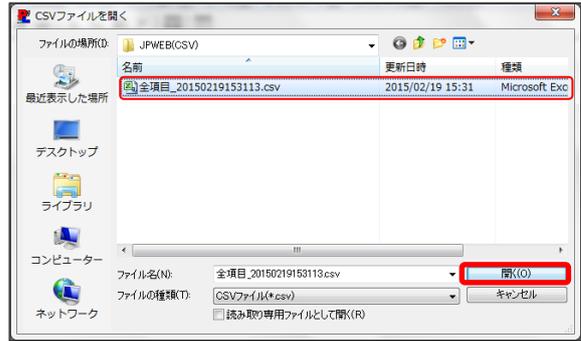
当社では、日本特許の公報データが電子化された平成5年以降の特許・実用新案を検索できる「JP/WEB」を提供しています。ここでは、JP/WEB からダウンロードした CSV 形式データの取込方法について説明します。JP/WEB の詳細につきましては、当社にお問い合わせください。

JP/WEB CSV ファイルの取り扱いは次の手順で行います。

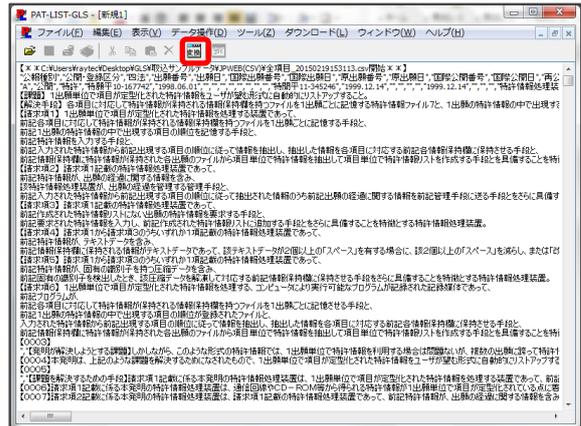
1. メニューバーから、「ファイル」→「外部データ取込」→「JP」→「JP/WEB(CSV)」を選択します。



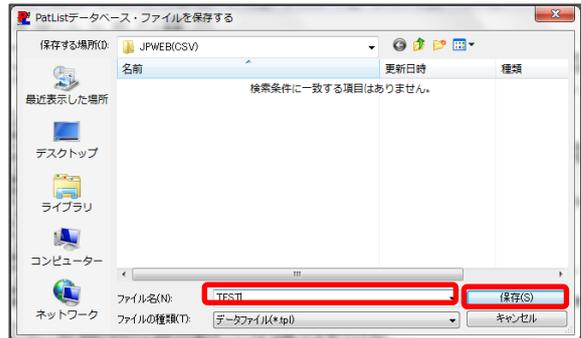
- 「CSV ファイルを開く」画面が表示されます。「JP/WEB」からダウンロードした CSV ファイルを選択し、**開く(O)** をクリックします。



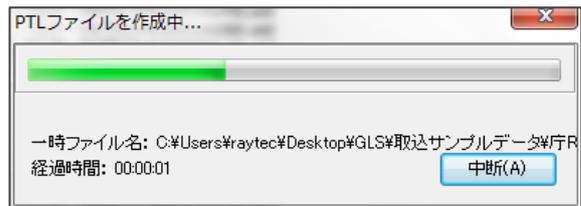
- 選択した CSV ファイルの内容が表示されます。**変換** をクリックします。



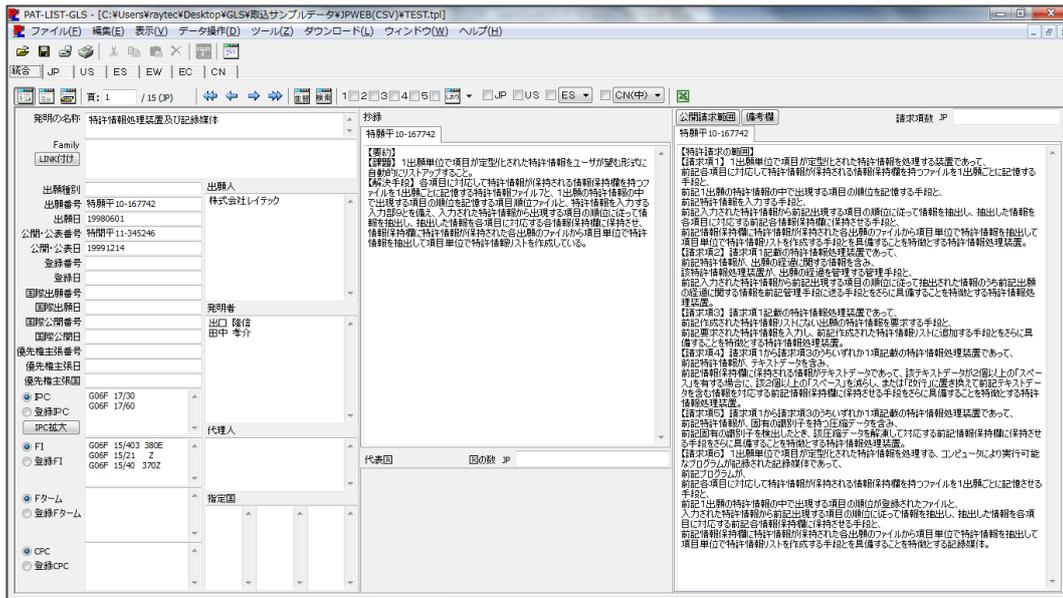
- 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力して、**保存(S)** をクリックします。



データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文献が表示されます。



5.6 CSVデータの取込み

本ソフトウェアは、各種商用特許検索システムよりダウンロードした CSV ファイルを取り込むことができます。ここでは、CSVファイルを取り込む方法と、設定を保存する方法、保存した設定を呼出す方法について説明します。

5.6.1 CSVデータ取込み

CSVデータの各項目を本ソフトウェアのどの項目に取り込むかを示す項目対応表を指定することにより、各種商用特許検索システムよりダウンロードした CSVデータに対応することができます。



CSVデータの文字コードは「Shift-JIS」および「Unicode (UTF-16)」に対応しています。他の文字コードの場合は「Shift-JIS」または「Unicode (UTF-16)」へ変換する必要があります。



CSVデータの項目区切り文字は通常「カンマ(,)」ですが、「タブ」、「セミコロン(;）」、「スペース(半角の空白)」、その他の指定した文字に変更することができます。



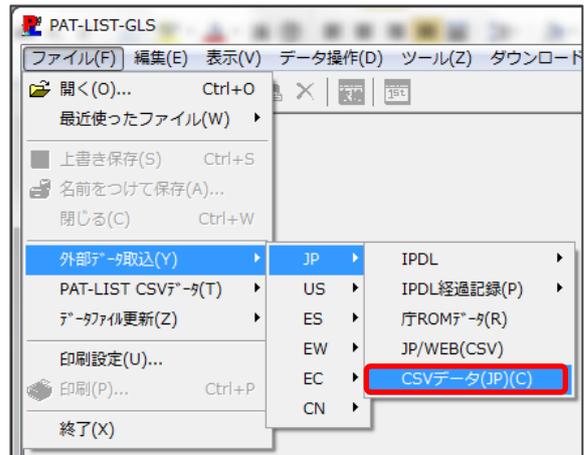
CSVデータの項目名は通常 1 行目にありますが、2行目以降に項目名がある場合は、取込み開始行を項目名がある行に変更することにより、対応できます。



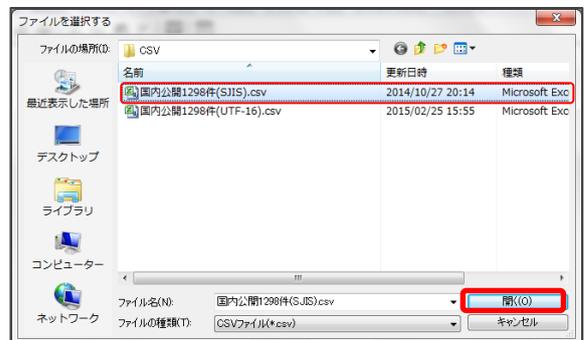
特許分類(IPC、FI、Fタームなど)、出願人、発明者、代理人など、1つの項目内に複数のデータがある場合、各データは項目内区切り文字で区切られています。本ソフトウェアは、「カンマ(,)」、「セミコロン(;）」、「パイプ(|)」、改行の4種類の項目内区切り文字に対応しています。

CSVデータの取り込みは次の手順で行います。

1. メニューバーから、「ファイル」→「外部データ取込」→「JP」→「CSVデータ」を選択します。



2. 「ファイルを選択する」画面が表示されます。CSVファイルを選択し、**開く(O)**をクリックします。

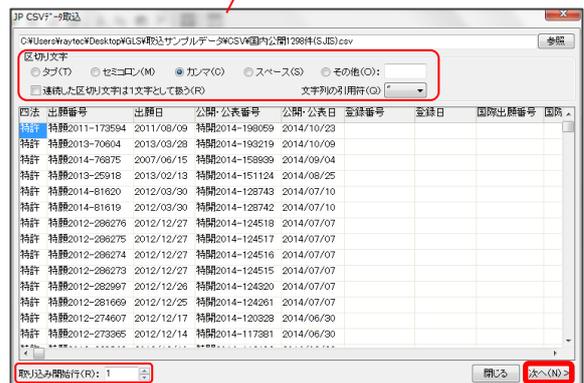


3. 「JP CSVデータ取込」画面に、指定したCSVファイルから読み出した内容が表示されます。

CSVファイルの各項目が正しく区切られるように、画面上側のCSVファイル名の下側にあるオプションボタンで適切な「区切り文字」を選択します。区切り文字は、「タブ」、「セミコロン」、「カンマ」、「スペース」、「その他」から選択できます。

またCSVファイルの項目名が1行目でない場合は、画面の下側にある「取込み開始行」で適切な行を指定します。

区切り文字と取込み開始行を適切に指定した後、**次へ(N) >** をクリックします。



取込み開始行(R): 1

4. 「JP CSV データ取込」画面の「項目対応表」に移ります。この画面では、CSV ファイルの各項目を本ソフトウェアのどの項目へ取り込むかを設定します。

左側の「CSV データ項目名称」列には CSV ファイルの取込み開始行にある項目が表示されます。中央の「項目種別」列には本ソフトウェアの項目の種別が表示されます。そして右側の「TPL 項目名称」列には当ソフトウェアの項目が表示されます。

本ソフトウェアは、CSV ファイルの取込み開始行にある項目を読み取り、ある程度自動的に取込先の項目を割り当てます。判断できない場合は右側の「TPL 項目名称」列の欄が空白になります。

右側の「TPL 項目名称」列の欄が空白の項目や自動的に割り当てられ取込先の項目が希望と異なる場合は、次のように操作します。



5. 中央にある「項目種別」列の欄をクリックし、プルダウンメニューから希望する項目種別を選択します。

例えば、出願番号の場合は「番号」、出願日の場合は「日付」をプルダウンメニューより選択します。

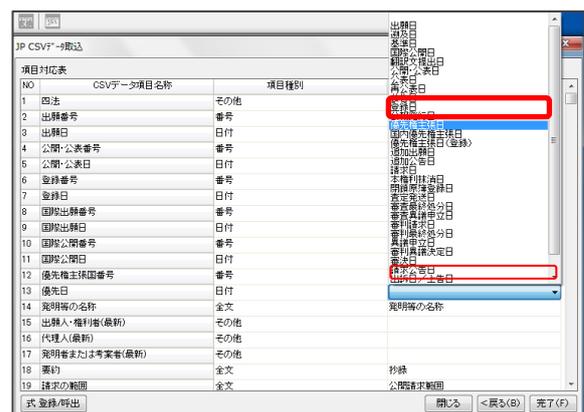
項目種別と項目の関係は、「CSV 取込項目一覧表」をご覧ください。



6. 項目種別を選択した後、右側にある「TPL 項目名称」列の欄をクリックし、プルダウンメニューから希望する項目を選択します。

例えば、出願番号の場合は「出願番号」、出願日の場合は「出願日」を選択します。

項目種別と項目の関係は、「CSV 取込項目一覧表」をご覧ください。



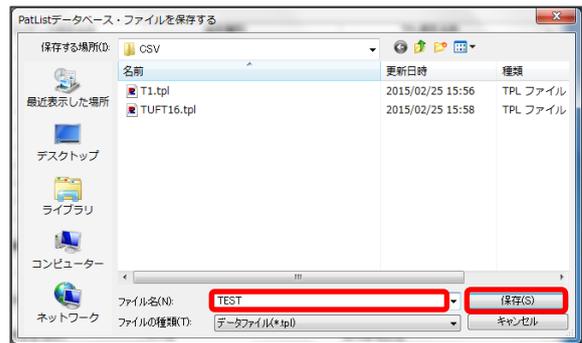
7. ステップ 5 と 6 の操作を繰り返して、本ソフトウェアに取り込む項目すべての取込先項目を指定した後、画面右下にある **完了(F)** をクリックします。

本ソフトウェアに取り込まない項目は、右側の「TPL 項目名称」列の欄を空白のままにします。

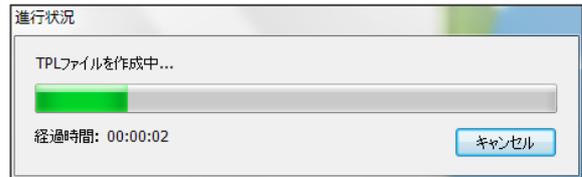
複数の項目に同じ取込先項目を指定した場合、項目対応表の下側にある項目が優先されます。



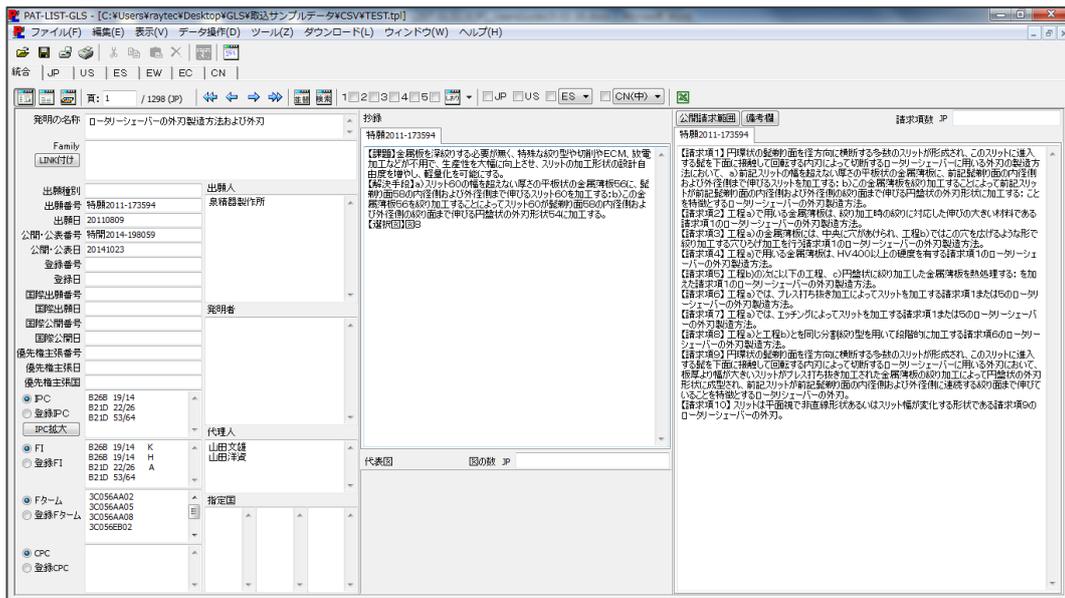
8. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力して、**保存(S)** をクリックします。



データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文献が表示されます。



CSV 取込項目一覧表

項目種別	TPL 項目名称	項目種別	TPL 項目名称
番号	出願番号	日付 (つづき)	出訴日/上告日
	国際出願番号		審判確定日
	国際公開番号		国際出願日
	公開・公表番号	分類	I P C
	公表番号		J P C
	再公表番号		広域分類
	公告番号		F I
	登録番号		テーマコード
	優先権主張番号		F ターム
	国内優先権主張番号		付加コード
	原出願番号		異議決定分類
	追加特許番号		審決決定分類
	延長出願番号		更新 I P C
	審判番号		更新 F I
	請求公告番号		更新テーマコード
	出訴/上告事件番号		更新 F ターム
	上告受理番号		更新付加コード
	微生物受託番号		登録 I P C
	原登録番号		登録 F I
	日付		出願日
遡及日		登録 F ターム	
基準日		登録付加コード	
国際公開日		出願種別	
翻訳文提出日		関連種別	
公開・公表日		出願人代理人種別	
公表日		権利者代理人種別	
再公表日		審査種別	
公告日		審査請求種別	
登録日		最古請求種別	
公報発行日		審査種別 (EXK)	
優先権主張日		査定種別	
国内優先権主張日		審査異議決定種別	
優先権主張日 (登録)		審査異議申立人代理人種別	
追加出願日		審判種別	
追加公告日		審級等種別	
請求日		審判請求人代理人種別	
本権利抹消日		審判被請求人代理人種別	
閉鎖原簿登録日		異議決定種別	
査定発送日		審判異議申立人代理人種別	
審査最終処分日		種別	
審査異議申立日		出願人	出願人他何名
審判請求日			出願人国県
審判最終処分日			出願人
異議申立日			出願人コード
審判異議決定日			出願人代理他何名
審決日			出願人代理人種別
請求公告日			出願人代理人資格

CSV 取込項目一覧表 (つづき)

項目種別	TPL 項目名称	項目種別	TPL 項目名称
出願人 (つづき)	出願人代理人	審査 (つづき)	審査異議申立日
	出願人代理人コード		審査異議決定種別
権利者	権利者他何名		審査異議申立国県
	権利者国県		審査異議申立人
	権利者		審査異議申立人コード
	権利者コード		審査異議申立人代理人種別
	権利者代理人他何名		審査異議申立人代理人資格
	権利者代理人資格		審査異議申立人代理人
	権利者代理人		審査異議申立人代理人コード
	権利者代理人コード		審査官フリーワード
審判	審判記録	個数	総通号数
	審判最終処分		年間通号数
	審判請求人他何名		四法別通号数
	審判請求人国県		四法別年間通号数
	審判請求人		優先権件数
	審判請求人コード		優先権件数 (登録)
	審判請求人代理人他何名		頁数
	審判請求人代理人種別		請求数
	審判請求人代理人資格		審査異議件数
	審判請求人代理人		異議件数
	審判請求人代理人コード	異議有効数	
	審判被請求人他何名	請求項数	
	審判被請求人国県	図の数	
	審判被請求人	備考	備考 1
	審判被請求人代理人種別		備考 2
	審判被請求人代理人資格		備考 3
	審判被請求人代理人		備考 4
	審判被請求人代理人コード		備考 5
	審判参加人国県		備考 6
	審判参加人		備考 7
	審判参加人コード		備考 8
	審判異議申立請求項		備考 9
	審判維持請求項		備考 10
	審判取消請求項	全文	発明等の名称
	審判異議申立人国県		抄録
	審判異議申立人		公開請求範囲
	審判異議申立人コード		登録請求範囲
	審判異議申立人代理人他何名		技術分野
	審判異議申立人代理人種別		従来技術
	審判異議申立人代理人		発明の課題
審判異議申立人代理人コード	解決手段		
審査	予備審査		従来技術
	早期審査		発明の課題
	審査記録	解決手段	
	審査最終処分	実施の形態	
	審査異議件数	発明の効果	
	審査異議有効数	図面の簡単な説明	

CSV 取込項目一覧表 (つづき)

項目種別	TPL 項目名称	項目種別	TPL 項目名称
全文 (つづき)	符号の説明	その他 (つづき)	年分
その他	四法		担当官
	基準日の種類		拒絶理由条文
	公報発行区分		引用文献
	公報発行区分 (公告)		出訴上告区分
	優先権主張国		指定国
	国内優先権主張四法		属性
	優先権主張国 (登録)		公序良俗
	閉鎖原簿移記		微生物受託機関コード
	出願言語		条文
	発明者等氏名他何名		内容
	発明者等国県		調査した分野
	発明者等氏名		評価書の請求
	フリーキーワード		図名
	固定キーワード		図面の回転
	請求の有無		しおり
	権利譲渡/実施許諾		全図の名称
	公害防止関連技術		全図の図名
	早期審理		全図の回転
	登録記録		

5.6.2 項目対応表の登録

「5.6.1 CSV データ取込み」で指定した項目対応表は登録・保存することができます。項目対応表の登録は次のように行います。

1. 項目対応表を指定した後、画面左下にある

「式登録/呼出」をクリックします。



2. 「式登録/呼出」画面が表示されます。画面下側にある「式名」欄に指定した項目対応表の名前を入力し、「登録」をクリックします。



5.6.2 項目対応表の呼出

登録した項目対応表は、呼び出して再設定でき、項目対応表を指定する操作を省くことができます。



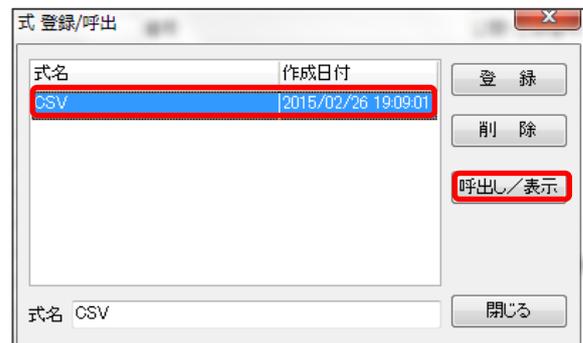
登録した項目対応表を呼び出して再設定し、CSV データを取り込む場合、取り込む CSV データの項目とその順序が項目対応表に登録した時の CSV データと一致している必要がありますので、ご注意ください。

項目対応表の呼出は次のように行います。

1. 項目対応表を指定した後、画面左下にある **式登録/呼出** をクリックします。

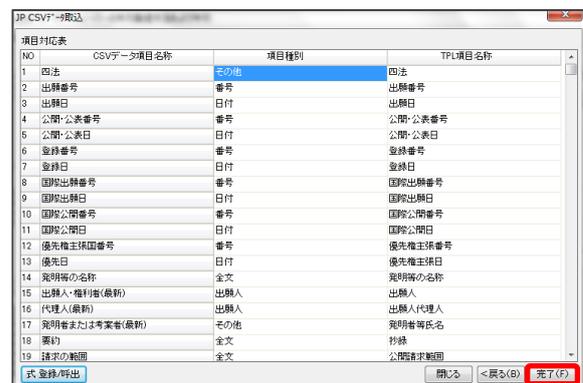


2. 「式登録/呼出」画面が現れ、登録した項目対応表の名前と登録日時がリスト表示されます。希望する項目対応表を選択し、**呼出し/表示** をクリックします。

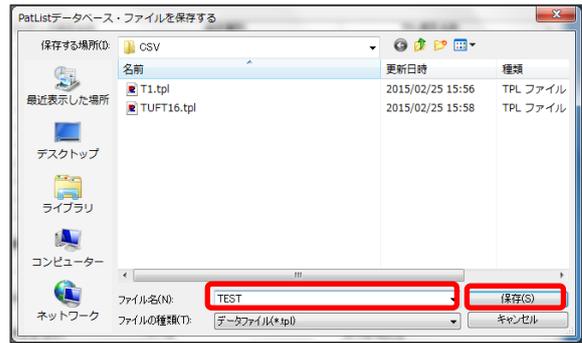


3. 設定が呼び出され、登録した時と同じ項目対応表になります。

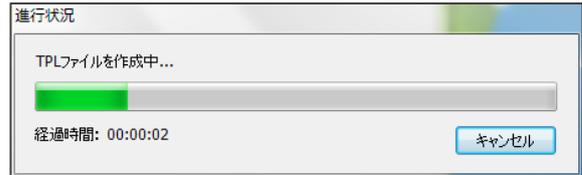
画面右下にある **完了(F)** をクリックします。



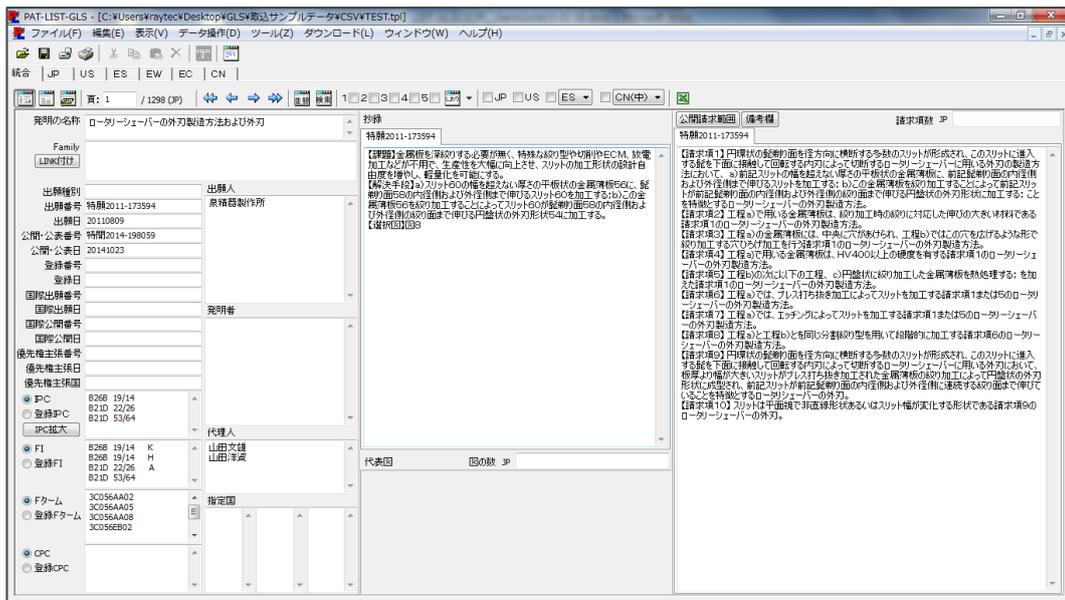
4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力して、**保存(S)** をクリックします。



データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文献が表示されます。



5.6.3 項目対応表の削除

不要になった項目対応表は登録から削除することができます。



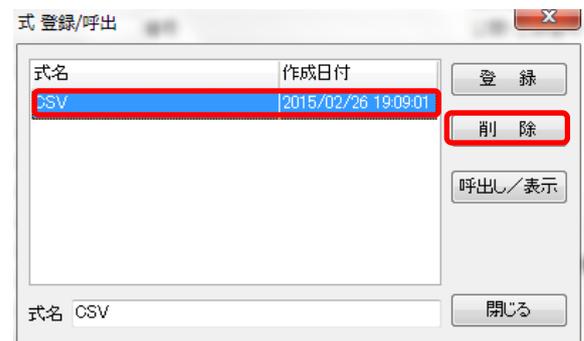
項目対応表を削除すると、元に戻せなくなりますので、削除を実行する前にご確認ください。

項目対応表の削除は次のように行います。

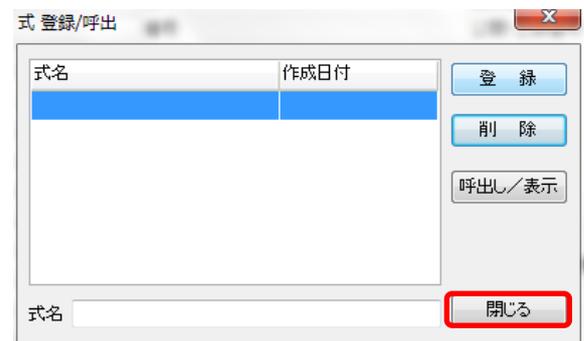
1. 項目対応表を指定した後、画面左下にある「式登録/呼出」をクリックします。



2. 「式登録/呼出」画面が現れ、登録した項目対応表の名前と登録日時がリスト表示されます。削除する項目対応表を選択し、「削除」をクリックします。



3. 「式登録/呼出」画面から選択した項目対応表が消えます。「閉じる」をクリックして、元の画面に戻ります。



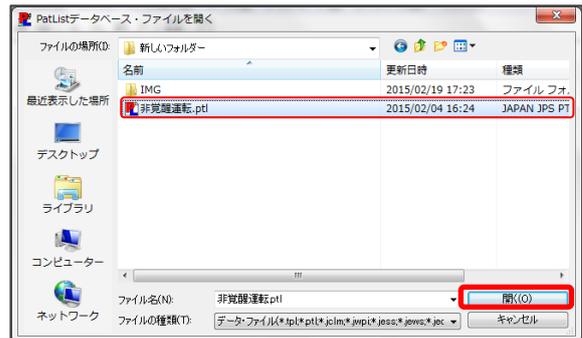
5.7 PAT-LIST-JPS データの取込み

当社の PAT-LIST-JPS 日本特許調査・解析ソフトウェアで作成した PTL ファイルを本ソフトウェアでも開けるように、TPL ファイルへ変換できます。

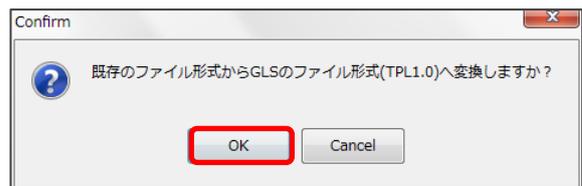
1. ツールバーにある  をクリックします。



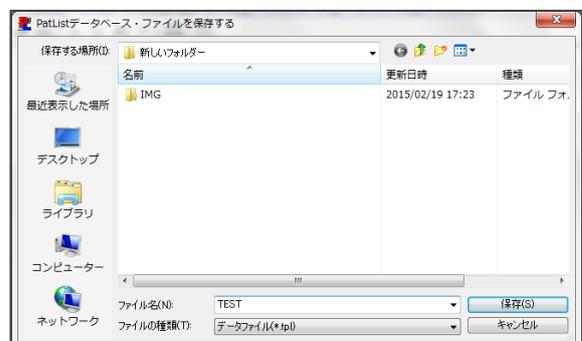
2. 「PatList データベースファイルを開く」画面が表示されます。TPL ファイルに変換して開く PTL ファイルを選択し、**開く(O)** をクリックします。



3. 確認メッセージが表示されます。**OK** をクリックします。



4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力して、**保存(S)** をクリックします。



データ変換処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ変換が完了すると、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文献が表示されます。



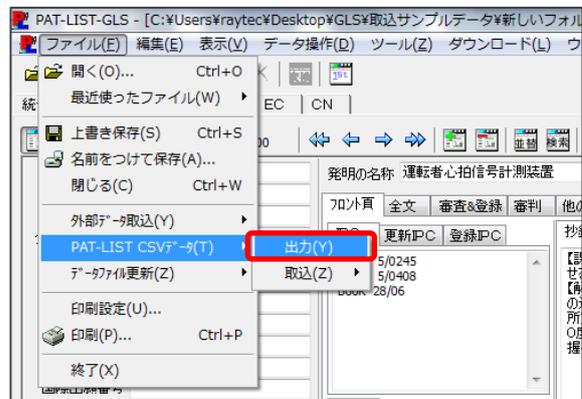
5.8 PAT-LIST CSV データの取込み

ここでは、本ソフトウェアからの PAT-LIST CSV 形式ファイルの出力と、本ソフトウェアまたは当社の PAT-LIST-JPS 日本特許調査・解析ソフトウェアから出力した PAT-LIST CSV 形式ファイルの取込方法を説明します。

5.8.1 PAT-LIST CSV 形式ファイルの出力方法

本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)より、PAT-LIST CSV 形式ファイルは次の手順で出力できます。

1. メニューバーから「ファイル」→「PAT-LIST-CSV データ」→「出力」を選択します。



2. 「CSV データ抽出」画面が表示されます。この画面には、「基本情報/フロント頁/分類」、「審査/審判/登録/備考」、「その他(1)」、「その他(2)」の4つのタブがあり、それぞれのタブに出力項目とチェックボックスが並んでいます。各タブで出力する項目のチェックボックスをオンにします。

全ての項目を選択する場合は、画面上部にある **全選択** をクリックします。逆に、チェックボックスを全てオフにする場合は、画面上部にある **全解除** をクリックします。

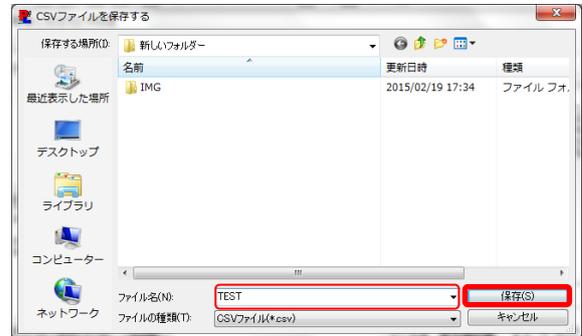
同様に、各タブに表示されている項目を全て選択する場合は、タブの中にある **全選択** をクリックします。また、タブの中にある項目を全てオフにす



る場合は、タブの中にある **全解除** をクリックします。

出力項目を選択した後、画面上部にある **CSVデータ作成** をクリックします。

- 「CSV ファイルを保存する」画面が表示されます。ファイル名を指定し、**保存(S)** をクリックします。PAT-LIST CSV 形式ファイルが作成されます。



PAT-LIST-JPS 日本特許調査・解析ソフトウェアから出力した PAT-LIST CSV 形式ファイルの文字コードは「Shift JIS」ですが、本ソフトウェアから出力した PAT-LIST CSV 形式ファイルの文字コードは「Unicode (UTF-16)」になります。文字コードが従来と異なりますので、ご注意ください。

各タブで選択できる CSV 出力項目は次表の通りです。

CSV 出力項目一覧表

「基本情報/分類/フロント頁」タブ			
四法	公報発行日	公告番号	従来技術
出願種別	国際出願番号	公告日	発明の課題
出願番号	国際出願日	登録番号	解決手段
出願日	国際公開番号	登録日	実施の形態
公開・公表番号	国際公開日	出願人	発明の効果
公開・公表日		発明者等氏名	図面の簡単な説明
		出願人代理人	符号の説明
		発明等の名称	図の数
		抄録	I P C
		公開独立項請求範囲	更新 I P C
		公開請求範囲	登録 I P C
		登録独立項請求範囲	F I
		登録請求範囲	更新 F I
		請求項数	登録 F I
		フリーキーワード	F ターム
		審査官フリーワード	更新 F ターム
		技術分野	登録 F ターム

CSV 出力項目一覧表 (つづき)

「審査/審判/登録/備考」タブ		
関連種別	審判番号	年分
原出願番号	審判請求日	本権利抹消日
原登録番号	審判種別	閉鎖原簿登録日
基準日の種類	審判請求人	権利者
基準日	審判請求人代理人	追加特許番号
遡及日	異議有効数	登録記録
早期審査	審判被請求人	閉鎖原簿移記
請求日	審判異議申立人	備考 1
請求数	審判異議申立請求項	備考 2
権利譲渡/実施許諾	異議決定種別	備考 3
査定種別	審判最終処分	備考 4
拒絶理由条文	審判確定日	備考 5
査定発送日	審判記録	備考 6
審査最終処分	異議決定分類	備考 7
審査記録	審決決定分類	備考 8
審査最終処分日	出訴上告区分	備考 9
審査種別 (EXK)	出訴/上告事件番号	備考 10

「その他(1)」タブ		
翻訳文提出日	追加公告日	請求の有無
予備審査	延長出願番号	頁数
公報発行区分	出願言語	公害防止関連技術
公報発行区分 (公告)	出願人国県	審査請求種別
総通号数	出願人コード	最古請求種別
年間通号数	出願人代理人種別	早期審理
優先権件数	出願人代理人資格	担当官
優先権主張日	出願人代理人コード	引用文献
優先権主張国	権利者国県	審査異議件数
優先権主張番号	権利者コード	審査異議申立日
国内優先権主張四法	権利者代理人種別	審査異議決定種別
国内優先権主張番号	権利者代理人資格	審査異議申立国県
国内優先権主張日	権利者代理人	審査異議申立人
優先権主張日 (登録)	権利者代理人コード	審査異議申立人代理人種別
優先権主張国 (登録)	発明者等国県	審査異議申立人代理人資格
優先権件数 (登録)	J P C	審査異議申立人代理人
追加出願日	審査種別	審級等種別

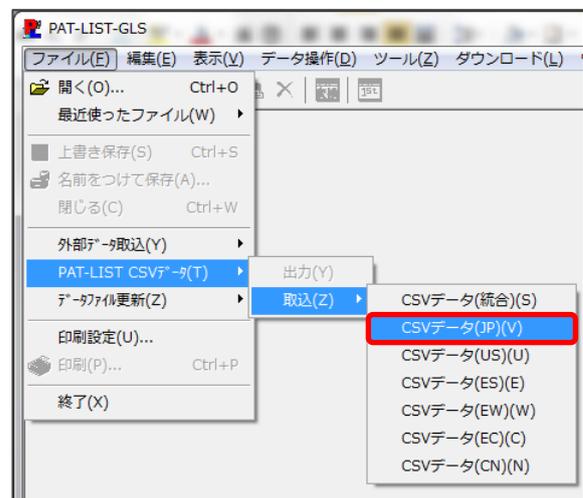
CSV 出力項目一覧表 (つづき)

「その他(2)」タブ		
審判最終処分日	審判異議申立人代理人資格	公報種別
審判請求人国県	審判異議申立人代理人	公報直接閲覧 URL
審判請求人代理人種別	審決日	公開公報ファイル名
審判請求人代理人資格	請求公告番号	登録公報ファイル名
審判被請求人国県	請求公告日	広域分類
審判被請求人代理人種別	指定国	固定キーワード
審判被請求人代理人資格	属性	
審判被請求人代理人	上告受理番号	
審判参加人国県	出訴日／上告日	
審判参加人	公序良俗	
異議件数	微生物受託番号	
異議申立日	内容	
審判異議決定日	調査した分野	
審判維持請求項	評価書の請求	
審判取消請求項	図名	
審判異議申立人国県	全図の名称	
審判異議申立人代理人種別	全図の図名	

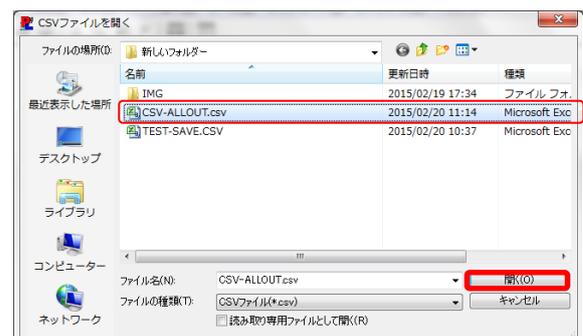
5.8.2 PAT-LIST CSV 形式ファイルの取込方法

本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)および当社の PAT-LIST-JPS 日本特許調査・解析ソフトウェアから出力した PAT-LIST CSV 形式ファイルは、次の手順で取り込むことができます。

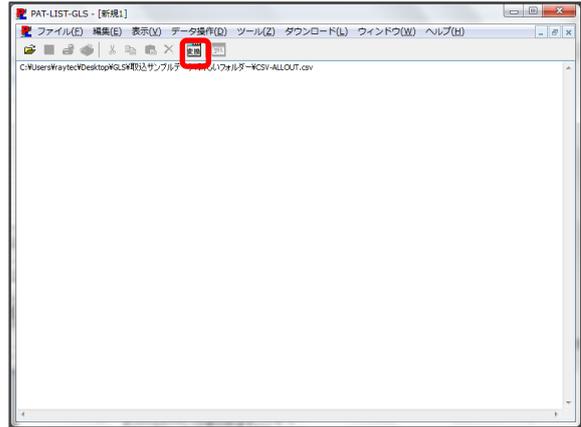
1. メニューバーから「ファイル」→「PAT-LIST-CSV データ」→「取込」→「CSV データ(JP)」を選択します。



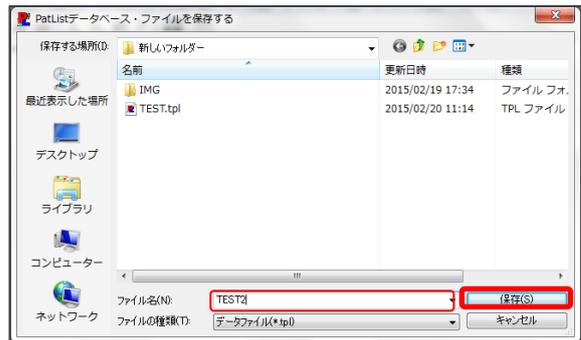
2. 「CSV ファイルを開く」画面が表示されます。PAT-LIST CSV 形式ファイルを指定し、**開く(O)** をクリックします。



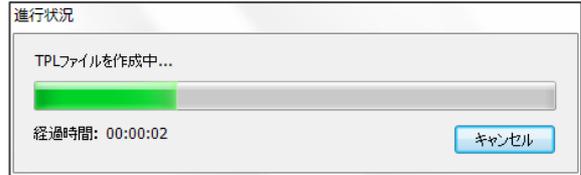
3. 選択した PAT-LIST CSV 形式ファイルの名前がフルパスで表示されます。ツールバーにある **変換** をクリックします。



4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力し、**保存(S)** をクリックします。



データ変換処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文献が表示されます。

